

令和5年度

教育に関する事務の管理及び執行  
の状況の点検及び評価報告書

令和6年8月

かほく市教育委員会

## はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和5年度のかほく市教育委員会の活動を振り返るとともに、「かほく市教育振興基本計画」に基づき具体的施策について、自ら事務事業の点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々からの意見もいただいて作成したものです。

かほく市教育委員会としては、今の時代を生き抜き、多様化する課題に対し主体的に解決できる力を身につけ、次代のかほく市を担う人材をしっかりと育てていくため、計画期間を令和元年度から令和5年度までの5年間とする「第2期かほく市教育振興基本計画」の着実な実現に向かって、引き続き、「自ら考え ともに学び 明日をひらく 人づくり」をめざすため、創造力と生きがいを育む教育の推進に努力してまいります。

令和6年8月

かほく市教育委員会

# 目 次

I	教育委員会の活動状況	1
	(1) 総合教育会議の開催・審議状況	1
	(2) 教育委員会会議の開催・審議状況	1
	(3) 教育委員の主な活動状況	4
II	点検及び評価	6
	(1) 総括	6
	(2) 前年度の学識経験者からの主な意見に対する取組	10
	(3) 点検及び評価の方法	12
	(4) 学識経験者の主な質問・意見等	12

《第2期かほく市教育振興基本計画に基づく具体的な取組内容・成果及び今後の方向性》

**■基本目標1 確かな学力をはぐくみ一人一人の個性を大切にします**

基本的方向1- (1) 確かな学力の育成	14
①新学習指導要領の着実な実施と外国語教育の強化	
②学力調査等による現状把握と学習指導方法の改善	
③家庭学習の定着と充実	
④認定こども園と小学校、小学校と中学校との連携強化	
基本的方向1- (2) 豊かな心と社会の変化に対応できる資質・能力の育成	19
①道徳教育の推進	
②自己肯定感の育成と発達段階に応じたふるさとキャリア教育の推進	
③学校における体験活動や読書活動の推進	
基本的方向1- (3) 児童生徒の体力増進と運動能力の向上	22
①学校における運動機会の充実	
②健康づくり、体力向上をめざす教育の充実	
③安全でおいしい給食の提供、食育の推進	
基本的方向1- (4) 新しい時代の教育に向けた学校指導体制の整備	25
①教職員の資質の向上と組織的な学校経営	
②教育センターにおける時代の変化に対応した研修の実施	
③教職員の働き方改革の推進	
基本的方向1- (5) 多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援	29
①特別支援教育の充実	
②いじめ等への対応の徹底	
③不登校児童生徒等への自立支援	
④教育相談体制の充実	
⑤経済的な理由による子供たちの就学支援	
基本的方向1- (6) 安心して学べる教育環境の整備・充実	34
①学校施設の長寿命化の推進	
②新たな学びを実現するICT環境等の整備	
③通学路の安全対策と安全・防災教育の充実	

## ■基本目標 2 家庭・地域・学校が連携し教育力の向上に取り組みます

基本的方向 2- (1) 家庭の教育力の向上	37
①親学びへの支援と家庭教育に関する学習の推進	
②親子による体験活動などの促進	
③インターネット社会に対応する力の向上	
基本的方向 2- (2) 社会教育の活性化による地域教育力の向上	40
①地域に活力を与える人材の育成	
②社会教育団体の再興と活性化	
③連携と協働による社会教育の推進	
基本的方向 2- (3) 学校を核とした家庭・地域との連携の強化	42
①学校を核とした活動の充実	
②「支援」から「連携・協働」へとつながる意識の醸成	
③地域課題解決のための多世代が関わる体制づくり	

## ■基本目標 3 生涯にわたって学ぶ意欲を持ち豊かな人間性を育成します

基本的方向 3- (1) 人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進	44
①「学び」を活かす機会と活動の充実	
②生涯学習に関する情報の発信	
③市民大学講座による学びの充実	
基本的方向 3- (2) 読書環境の充実と生涯学習拠点としての機能強化	47
①生涯学習拠点施設としての機能の強化	
②子供の読書活動の推進	
③市立図書館と学校図書館との連携	
基本的方向 3- (3) 博物館活動の充実と情報発信	50
①石川県西田幾多郎記念哲学館の充実	
②うみっこらんど七塚の充実と「海と渚の博物館」機能の強化	
基本的方向 3- (4) 生涯学習活動を支える環境の整備・充実	53
①生涯学習センターの運営管理	
②地域交流施設などの有効活用	

## ■基本目標 4 郷土の自然、歴史、文化を継承し芸術文化活動の充実を図ります

基本的方向 4- (1) ふるさと学習の充実	55
①ふるさと「かほく市」を学び知る機会の提供	
②かほく市ゆかりの人物に関する情報の発信	
基本的方向 4- (2) 芸術文化活動の促進と支援	57
①芸術や文化活動に触れる機会の提供	
②文化活動団体・個人への支援	
基本的方向 4- (3) 未来に伝える文化財の保護と活用	59
①文化財を活用した学習の充実	
②文化財の公開と活用の促進	
③文化財の適切な保護と管理	

**■基本目標 5 豊かなスポーツライフの創造をめざします**

基本的方向 5- (1) 生涯にわたるスポーツ活動の振興	62
①スポーツへの参画人口の拡大	
②運動習慣の定着とスポーツを通じた生きがいのづくり	
③女性活躍の促進と障がい者がスポーツに親しめる環境の整備	
基本的方向 5- (2) 競技スポーツの強化と底辺の拡大	65
①競技力向上にむけたスポーツ機会の充実	
②指導体制の充実	
③競技選手への支援の充実	
④学校教育と連携した運動習慣の確立と体力の向上	
基本的方向 5- (3) スポーツ団体の育成支援と連携	69
①(仮称)かほく市スポーツ協会設立にむけた調整の実施	
②スポーツ少年団への支援	
③体育協会への支援	
④地域スポーツクラブへの支援	
⑤高齢者の運動に対する活動支援	
基本的方向 5- (4) スポーツ活動を支える環境の整備・充実	74
①スポーツ施設の整備と機能の充実	
②スポーツ施設の効率的な管理・運営	
③スポーツによる地域活性化の促進	

**■基本目標 6 異なる文化や価値観を尊重し世界に通じる人づくりを進めます**

基本的方向 6- (1) 多文化共生社会および国際化に対応した教育の充実	77
①国際交流事業の推進	
②多様な文化に対する理解の推進	
③実践的な外国語教育の充実	
基本的方向 6- (2) 人権教育の推進	80
①学校教育における人権教育の推進	
②社会教育における人権教育の推進	

III 資料	81
--------	----

# I 教育委員会の活動状況

## (1) 総合教育会議の開催・審議状況

令和5年度は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第1項に定める総合教育会議を開催し、1件の議件について協議しました。

### ◎令和5年度 総合教育会議開催状況

開催日	協議・調整事項
令和6年1月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども家庭センターの取組と学校との連携について</li> <li>・校内教育支援センター（SSR）の設置について</li> <li>・小中学校屋内運動場への空調設備の設置について</li> </ul>

## (2) 教育委員会会議の開催・審議状況

令和5年度は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める職務について、及び「市長の権限に属する事務の一部を教育委員会に委任する規則」の規定に基づき、教育委員会会議を12回開催し、議案20件について審議しました。

また、教育委員会の新制度以降、会議の審議内容について、会議録をホームページに公開し、開かれた教育委員会をめざしました。

### ◎令和5年度 教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審議決定事項
令和5年第4回 (令和5年4月28日)	議案第8号 かほく市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 議案第9号 かほく市特別支援教育推進委員会委員の委嘱について 議案第10号 かほく市少年愛護センター少年愛護員の委嘱について 議案第11号 かほく市公民館長の任命について 議案第12号 かほく市学校運営協議会委員の任命について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かほく市民生委員推薦会委員の選出について</li> <li>・ 第3期かほく市教育振興基本計画の策定スケジュールについて</li> <li>・ 令和5年度 かほく市教育委員会事務組織図について</li> <li>・ 令和5年度 教育事務所学校訪問時における市教委参加の日程について</li> <li>・ 令和5年度 かほく市教育委員会学校訪問の日程について</li> <li>・ て</li> <li>・ 令和5年度 第2回社会教育委員会議の結果について</li> </ul>
令和5年第5回 (令和5年5月25日)	議案第13号 河北採択協議会委員の選出について
令和5年第6回 (令和5年6月21日)	議案第14号 令和4年度事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価報告書について

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度第2回議会定例会提出議案について</li> <li>・ 令和5年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費6月認定結果について</li> <li>・ 令和5年度奨学資金支給に係る奨学生の決定について</li> <li>・ 令和5年度第1回社会教育委員会議の結果について</li> <li>・ 令和5年度姉妹都市交流メスキルヒ市青少年訪問団受入事業について</li> <li>・ 第3期かほく市教育振興基本計画の策定について</li> </ul>
令和5年第7回 (令和5年7月26日)	議案第14号 令和4年度事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価報告書について（継続審査） 議案第15号 河北採択地区協議会規約の一部改正について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費7月認定結果について</li> <li>・ 令和5年度特別支援教育奨励費支給決定結果について</li> <li>・ 第36回 JAPAN TENT（かほく市プログラム）について</li> <li>・ 新規国際交流員（C I R）及び外国語指導助手（A L T）の紹介について</li> <li>・ 小中学校運動会（体育祭）日程等について</li> </ul>
令和5年第8回 (令和5年8月23日)	議案第14号 令和4年度事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価報告書について（継続審査） 議案第16号 かほく市教育委員会表彰規程の一部改正について 議案第17号 かほく市教育委員会表彰選考委員会委員の委嘱について 議案第18号 令和6年度から令和9年度まで使用する小学校用教科書の採択について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年第3回議会定例会提出予定議案について</li> <li>・ 令和5年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費8月認定結果について</li> <li>・ 令和5年度北信越中学校総合競技大会等の成績について</li> <li>・ 第75回石川県民スポーツ大会について</li> </ul>
令和5年第9回 (令和5年9月26日)	議案第19号 かほく市総合体育館条例施行規則について 議案第20号 令和5年度かほく市教育委員会表彰被表彰者の決定について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理・指導・教育センターより前期報告について</li> <li>・ 令和5年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費9月認定結果について</li> <li>・ 市長による特別授業「かほく市のまちづくり」の実施について</li> <li>・ かほく市生涯学習フェスティバルの実施について</li> <li>・ 令和5年度石川縣市町教育委員会連合研究大会（能美大会）について</li> <li>・ 令和5年度教育委員会県外視察研修について</li> </ul>
令和5年第10回 (令和5年10月19日)	議案第19号 かほく市総合体育館条例施行規則について（継続審査）
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度河北郡市教育委員会連合会研修会について</li> <li>・ 学校訪問日程変更について</li> <li>・ 第20回かほく市成人式について</li> <li>・ 第20回かほく市立志式について</li> <li>・ 総合教育会議の日程調整について</li> </ul>
令和5年第11回 (令和5年11月24日)	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年第4回議会定例会提出議案について</li> <li>・ 令和5年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費11月認定結果について</li> </ul>

回 (開催日)	審 議 決 定 事 項	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合教育会議における協議調整事項について</li> <li>・ かほく市いじめ防止基本方針の改定について</li> </ul>	
令和 5 年第 12 回 (令和5年 12月 21日)	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合教育会議における協議事項について</li> <li>・ 令和 5 年度かほく市特別支援教育推進委員会の結果について</li> <li>・ 令和 5 年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 12 月認定結果について</li> <li>・ 第 20 回市制施行記念継走大会について</li> </ul>
令和 6 年第 1 回 (令和6年1月 25日)	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号	<p>かほく市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>かほく市学校施設利用条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>第 3 期かほく市教育振興基本計画の策定について</p>
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能登半島地震被害状況等について</li> <li>・ 令和 5 年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 1 月認定結果について</li> </ul>
令和 6 年第 2 回 (令和6年 2月 21日)	議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号	<p>第 3 期かほく市教育振興基本計画の策定について (継続審査)</p> <p>令和 6 年度かほく市教育目標について</p> <p>かほく市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</p>
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 6 年第 1 回議会定例会提出議案について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震災害に係る復旧事業費について</li> <li>・ 補正予算の概要について</li> <li>・ 令和 6 年度当初予算(案)の概要について</li> <li>・ 提出条例について</li> </ul> </li> <li>・ 令和 5 年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 2 月認定結果について</li> <li>・ 令和 6 年度石川県教育委員会連合会等年間事業予定について</li> </ul>
令和 6 年第 3 回 (令和6年 3月 26日)	議案第 3 号 議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号 議案第 9 号 議案第 10 号 議案第 11 号 議案第 12 号	<p>第 3 期かほく市教育振興基本計画の策定について (継続審査)</p> <p>かほく市立学校の学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について</p> <p>かほく市公民館長の任命について</p> <p>石川県西田幾多郎記念哲学館運営委員会委員の委嘱について</p> <p>かほく市学校運営協議会委員の任命について</p> <p>かほく市スポーツ推進審議会委員の委嘱について</p> <p>かほく市スポーツ推進委員の委嘱について</p> <p>かほく市文化財保護審議会委員の任命について</p>
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種委員の選出について</li> <li>・ 管理主事・指導主事・教育センター所長からの報告について</li> <li>・ 部活動地域移行に係る今年度の取組報告について</li> <li>・ 令和 5 年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 3 月認定結果について</li> <li>・ 令和 5 年度被災児童生徒就学援助費の対象者について</li> <li>・ 令和 5 年度第 2 回社会教育委員会議の結果について</li> <li>・ 「公民館を核とした社会教育活動の活性化について」 答申書について</li> </ul>

### (3) 教育委員の主な活動状況

#### ◎教育委員が出席した主な活動等

年 月 日	活 動 内 容
令和5年4月4日	初任・新任教職員辞令交付式
令和5年4月7日	かほく市立小中学校入学式
令和5年5月9日	石川縣市町教委連 第1回教育委員代表者会議
令和5年5月9日	石川縣市町教育委員会連合会定期総会
令和5年5月	河北郡市教育委員会連合会定期総会（書面開催）
令和5年5月11日	市教委学校訪問
令和5年5月15日	市教委学校訪問
令和5年5月25日	市教委学校訪問
令和5年5月29日	教育事務所学校訪問
令和5年5月31日	かほく市奨学生選考委員会
令和5年6月2日	第79回寸心忌・献花式
令和5年6月9日	教育事務所学校訪問
令和5年6月13日	第1回河北採択地区協議会
令和5年6月23日	教育事務所学校訪問
令和5年7月4日	教育事務所学校訪問
令和5年7月4日	七塚小学校創立150周年記念式典
令和5年7月7日	第75回石川県民スポーツ大会壮行会
令和5年7月26日	かほく市教育委員会点検及び評価報告書に関する意見懇談会
令和5年8月1日	石川縣市町教育委員会セミナー
令和5年8月2日	第2回河北採択地区協議会
令和5年8月5日	第75回石川県民スポーツ大会開会式及び応援巡回
令和5年9月25日	教育事務所学校訪問
令和5年9月29日	第2回教育委員代表者会議
令和5年10月7日	かほく市PTA大会
令和5年10月10日	教育事務所学校訪問
令和5年10月14日	高松小学校創立150周年記念式典
令和5年10月19日 ～10月20日	教育委員会県外視察
令和5年10月21日	金津小学校創立150周年記念式典

年 月 日	活 動 内 容
令和5年10月23日	教育事務所学校訪問
令和5年10月27日	かほくの芸術文化祭 小中学校音楽会
令和5年10月27日	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（能美市）
令和5年10月28日	かほく市教育委員会表彰式
令和5年10月29日	いしかわ百万石文化祭2023哲学シンポジウム
令和5年11月7日	教育事務所学校訪問
令和5年11月8日	河北郡市教育委員会連合会研修会
令和5年11月22日	教育事務所学校訪問
令和5年11月24日	市教委学校訪問
令和5年11月29日	市教委学校訪問
令和6年1月25日	総合教育会議
令和6年2月1日	第20回かほく市立志式
令和6年3月9日	かほく市立中学校卒業式
令和6年3月15日	かほく市立小学校卒業式

◎能登半島地震の影響のため延期となった行事等

年 月 日	活 動 内 容
令和6年1月	第20回かほく市成人式

## II 点検及び評価

### (1) 総括

#### ◇目的

かほく市教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況を自ら点検評価し、その結果を議会に報告するとともに、市民に公表することにより、効果的な教育行政の推進や市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

#### ◇点検評価の対象及び方法

点検評価の対象は、令和5年度に実施した教育委員会所管の主要な事業とし、その取組状況と成果について教育委員会が点検評価を行いました。

#### ◇事業評価

第2期かほく市教育振興基本計画（計画期間：令和元年度～令和5年度）に基づく施策を迅速かつ的確に推し進めるためには、施策の基本的方向に掲げた様々な具体的な取組の実施状況を常に把握し、具体的な取組に示した104項目の数値目標に対し、PDCAサイクルによる進行管理を行います。

具体的な取組に示した数値目標項目の達成状況は、次のとおりです。

基本目標	数値目標 項目数	数値目標 測定不能	改善傾向 項目数	目標達成 項目数
【基本目標1】 生きる力をはぐくみ 一人一人の個性を大切にします	54	2 (0)	14 (24)	20 (20)
【基本目標2】 家庭・地域・学校が連携し 教育力の向上に取り組みます	9	0 (0)	2 (3)	3 (2)
【基本目標3】 生涯にわたって学ぶ意欲を持ち 豊かな人間性を育成します	15	0 (0)	6 (5)	4 (3)
【基本目標4】 郷土の自然、歴史、文化を継承し 芸術文化活動の充実を図ります	8	0 (0)	0 (0)	6 (6)
【基本目標5】 豊かなスポーツライフの創造を めざします	15	0 (0)	5 (6)	2 (2)
【基本目標6】 異なる文化や価値観を尊重し 世界に通じる人づくりを進めます	3	0 (0)	1 (1)	1 (1)

( ) は前年度数値

全項目数 104 項目のうち目標達成項目数は 36 項目で全体の 35%、改善傾向項目数は 27 項目で全体の 26%となりました。各々合わせて 61%の 63 項目が、令和 5 年度に目標を達成又は状況の改善が見られたという結果となっています。また、測定不能項目については 2 項目でした。目標達成項目数は前年度と比較し 2 項目の増となりましたが、改善傾向項目数については前年度と比較し 12 項目が減少したという結果でした。

個別の基本目標ごとの分析については次のとおりです。

【基本目標 1】での目標達成項目、改善傾向項目以外の項目については 18 項目で、その主な内容では基本的方向 1-(1)③「家庭学習の定着と充実」1-(2)②「自己肯定感の育成と発達段階に応じたふるさとキャリア教育の推進」1-(3)①「学校における運動機会の充実」1-(5)①「特別支援教育の充実」の数値指標が低い傾向にあります。中でも自己肯定感に関するアンケート調査の数値が年々低下傾向にあり懸念されます。またスポーツに関する数値も低い傾向にありスポーツ離れが懸念されます。

【基本目標 2】での目標達成項目、改善傾向項目以外の項目は 4 項目あり、その主な内容は、基本的方向 2-(1)①「親学びへの支援と家庭教育に関する学習の推進」2-(1)③「インターネット社会に対応する力の向上」で、家庭における朝食や SNS、インターネット利用状況についての数値指標が低く、家庭における生活習慣の見直し、SNS やインターネットの活用ルールや情報モラルに関する指導・注意喚起の更なる必要性が考えられます。

【基本目標 3】での目標達成項目、改善傾向項目以外の項目は 5 項目あり、令和 4 年度から減少しました。その主な内容としては基本的方向 3-(2)③「市立図書館と学校図書館との連携」であり、学校における読書活動に関する指標に低下がみられます。

【基本目標 4】での目標達成以外の項目については 2 項目あり、その主な内容は、基本的方向 4-(2)②「文化活動団体・個人への支援」で、数値指標となっている文化協会加盟会員が年々低下しています。会員の高齢化や趣味の多様化、個人志向などが影響しているとみられており、会員数増はなかなか難しいと考えられます。

【基本目標 5】での目標達成項目、改善傾向項目以外の項目は 8 項目あり、その主な内容としては、基本的方向 5-(3)③「体育(スポーツ)協会への支援」④「地域スポーツクラブへの支援」であり、数値指標としてはスポーツ協会やスポーツクラブの加入者数が年々低下している状況でした。少子高齢化や市民の競技スポーツ離れ、近隣町のスポーツ施設が新しくオープンしたことも影響していると考えられます。

【基本目標 6】での目標達成項目、改善傾向項目以外の 1 項目については、その内容が基本的方向 6-(1)②「多様な文化に対する理解の推進」であり、その数値指標である海外留学奨励金の件数が低く、制度そのものの内容や PR について見直しの必要性があります。

#### ◇令和5年度 新たに取り組んだ施策等の概要

- ・中学校部活動の地域移行を円滑に進めるため、学校と受け皿となる地域団体との調整等を行う総括コーディネーターを1人配置し、各学校部活動や競技協会の関係者とのヒアリングを実施するとともに、まずは休日の地域移行に向けて、指導者派遣や持続可能な仕組みづくりについての働きかけを行いました。
- ・医療的ケアが必要な児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、看護師が学校を訪問し、必要となる医療的ケアを行いました。また、特別支援学級に在籍する児童が多い小学校へ特別支援教育支援員を増員することで、支援が必要な児童に対するきめ細やかな支援を実施しました。
- ・小中学校の各教室に設置してあった50インチモニターが経年劣化のため画面が暗くなってきたこともあり、より大きな65インチモニターに更新することで教室のどの場所からでも見やすくなり、また、タッチパネル機能によりICT機器の更なる利活用を進める環境を整備しました。
- ・英語検定、数学検定、漢字検定の3級以上を受検する中学校生徒に対し、各検定につき年に1回、検定料への助成を行うことで、受検機会を拡大し、学習意欲の向上を図るために上級検定料の補助を実施しました。  
令和5年度の補助実績は、英語検定108件、漢字検定が54件、数学検定が9件でした。
- ・学校施設整備事業については、高松中学校体育館照明のLED化工事、河北台中学校体育館の特定天井改修及び照明のLED化工事を実施しました。また、令和6年度以降の外日角小学校児童数増加に対応するため、普通教室増室工事を施工し、2学級増加に対応しました。
- ・コミュニティ・スクールの取組事例の一つとして、高松小学校6年生が総合的な学習の時間に地域を活性化させるために自分たちは何ができるかを考え、主体的に地元企業に対する取材や商品開発にかかる企画書の作成、商品製作、販売にいたる全ての行程を行い、地域住民と交流する実践的な学び体験につながる取組を実施しました。
- ・いしかわ百万石文化祭2023 かほく市地域文化発信事業として、10月29日に「走る哲学者」の異名を持つ400メートルハードル日本記録保持者の為末大氏を迎え、「スポーツを哲学する～地域を盛り上げるヒントを探る～」と題した哲学シンポジウムを西田幾多郎記念哲学館で開催しました。
- ・いしかわ百万石文化祭2023では11月19日に、石川県歌人協会が主催した「短歌大会～ようこそ、かほくの哲学の道へ～」を、11月25日には、中央都市圏連携事業として「ナイトミュージアム～100Keyboards」と題して、石川県出身の現代音楽家のASUNA氏による音楽パフォーマンスを実施しました。

- ・いしかわ百万石文化祭 2023 として、生涯学習フェスティバルを「かほくの芸術文化祭」と称し、3日間開催に拡大し、10月27日には小中学校音楽会を実施しました。小学校や公民館等において花を育て、会場を彩るウェルカムフラワー運動や高松中学校創作部及び河北台中学校美術部がウェルカムボードを制作し大会参加者をお迎えいたしました。
- ・中央図書館では、赤ちゃん健診で絵本を贈るブックスタートに続き、絵本を通して親子の絆を強めてもらう試みとして、市の3歳児健診に訪れた親子に絵本をプレゼントする事業「セカンドブック」を石川県内において初めて実施しました。
- ・令和4年度に上田潤氏（西田幾多郎の令孫・上田薫氏の長男）より寄贈いただいた西田幾多郎関連資料の今後の活用に向け、デジタル撮影を開始しました。撮影した画像データはデータベースに登録し、調査・研究へ活用するほか、デジタルアーカイブでの公開を予定しています。また、企画展において寄贈資料を展示・公開しました。
- ・社会教育施設長寿命化計画に基づき、宇ノ気生涯学習センターの長寿命化改修工事を実施しました。また、こども家庭課と連携し、令和6年度4月に開設の児童福祉と母子保健を一体的に支援する「こども家庭センター」の改修も併せて実施しました。
- ・スポーツによる地域活性化を進めていくうえで、令和4年7月に採用した地域おこし協力隊による活動を本格化し、スポーツコミッションの設立に向け、施設や地域資源を有効活用したアウトドアツーリズム・サイクルツーリズム・ビーチツーリズムの実証実験イベントを実施しました。また、令和6年3月には設立準備理事会及び設立時総会を開催しました。
- ・平成30年度に基本構想を策定したかほく市総合体育館等整備・運営事業は、本市初となるPFI事業により令和3年5月より開始され、第1期工事となるかほく市総合体育館整備工事について、令和6年3月に完成しました。また、本施設は、ネーミングライツパートナーを募集し、とり野菜みそ **BLUECATS ARENA** という通称となりました。
- ・ビジュアルや図表等を用い分かり易く地域の歴史を伝える、かほく市史の図説編となる「かほく市の歴史と文化」の令和6年12月の刊行に向けた契約を株式会社北國新聞社と締結しました。
- ・スポーツ施設整備計画に基づき、国の学校施設環境改善交付金事業の採択を受け、省エネルギー化工事に取り組み、宇ノ気体育館のアリーナ等照明、うのけ総合公園陸上競技場のナイター照明のLED化改修を実施しました。

(2) 前年度の学識経験者（松本吉雄氏・中谷良子氏・谷内正樹氏）からの主な意見に対する取組

主な意見等	左記に対する取組内容
<p>「地域づくりは人づくり」と常々考えており、3年余りコロナ禍を経過した今、地域の繋がりが薄れており今度どのようにしてその繋がりを取り戻すかが重要と考える。</p> <p>そこで、かほく市総合体育館が今年度完成を迎える中で、新体育館を活用し、市民が希望を持てるような新しい施策に取り組んでもらいたい。</p> <p>また、公民館活動をはじめ地域のコミュニティの再活性化に向けて取り組んでほしい。</p>	<p>市総合体育館を新たなスポーツ文化の拠点として、スポーツを「する」ことでの「楽しさ、喜び」、「みる」ことでの「感動」、「ささえる」ことで人々に「共感」を与えることができる施策に取り組むとともに、スポーツイベントの開催や、地域資源の掘り起こしによるスポーツツーリズムの取組によるスポーツを契機とした地域の賑わいを新体育館で創出して参ります。</p> <p>社会教育委員会議の「公民館を核とした社会教育活動の活性化」に関する答申を踏まえ、具体的な課題解決や取組について、先進地視察、公民館の現地調査をしながら、今後の方向性を示して参ります。</p>

【インターネット社会に対応する改革について】

主な意見等	左記に対する取組内容
<p>最近、児童がSNS（インターネット上のコミュニティサイト）を使ってみたいと個人所有の携帯電話や情報端末を持ちたがっている。市として、児童生徒が個人所有の情報端末等を所有することについて、使うことを前提としたもう少し踏み込んだ教育を検討しないと現実から遅れをとるのではないか。</p>	<p>市内小中学校では、SNSの使用における注意点や危険性、ネット情報モラルについて、夏休み前、授業参観などを通じて、保護者とともに学ぶ取組などを行っています。</p> <p>少年愛護センターでは、青少年がインターネット上のトラブルに巻き込まれることを未然に防止するため、警察署等と連携を図り、ネットパトロールを実施します。</p>

**【部活動地域移行の取組と教員の関わりについて】**

主な意見等	左記に対する取組内容
<p>今年の石川県中学校体育大会では、女子バレーボール競技でクラブチームが優勝し、剣道競技ではクラブチームが上位に名を連ねた。</p> <p>最近特に部活動を一生懸命やりたい、反対にやりたくないと思っている本人及び親がはっきりと分かれてきているように感じる。これまでの部活動を振り返ると、やりたい・やりたくないと思っている双方が一緒に練習量を行ってきたことで賛否両論あったが、地域移行によって希望する方向性に区分けが出来て児童生徒にとって良い方向に進んでいくのではないかと考えている。</p>	<p>中学校部活動地域移行に関しては、まずは、既存部活動の休日の活動を対象として実施する方向で、各中学校やスポーツ協会などの各団体と協議を重ねて参りました。</p> <p>今後も休日の地域移行を進めるとともに、平日の活動の移行や新たなクラブ活動の創出や同じスポーツでも方向性が違うものを用意することができないか、関係団体とも協議・検討を行って参ります。</p>

**【教育振興基本計画作成全般について】**

主な意見等	左記に対する取組内容
<p>第3期教育振興基本計画を作成するにあたり、第2期教育振興基本計画では目標値と実績値が大きくかけ離れている項目が多く見受けられるので、第3期計画作成の際には目標値についても見直しを図ってほしい。</p>	<p>目標値を設定する際、これまでの実績値の推移を参考に設定を行い、適切なものになるように努めました。</p>

### (3) 点検及び評価の方法

点検及び評価は、施策に基づく事業内容と実績を明らかにするとともに、成果と課題などを示している。

また、点検及び評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する方として、谷内正樹氏、中谷良子氏、丸井厚司氏から様々な意見や助言を得た。

#### 【部活動地域移行について】

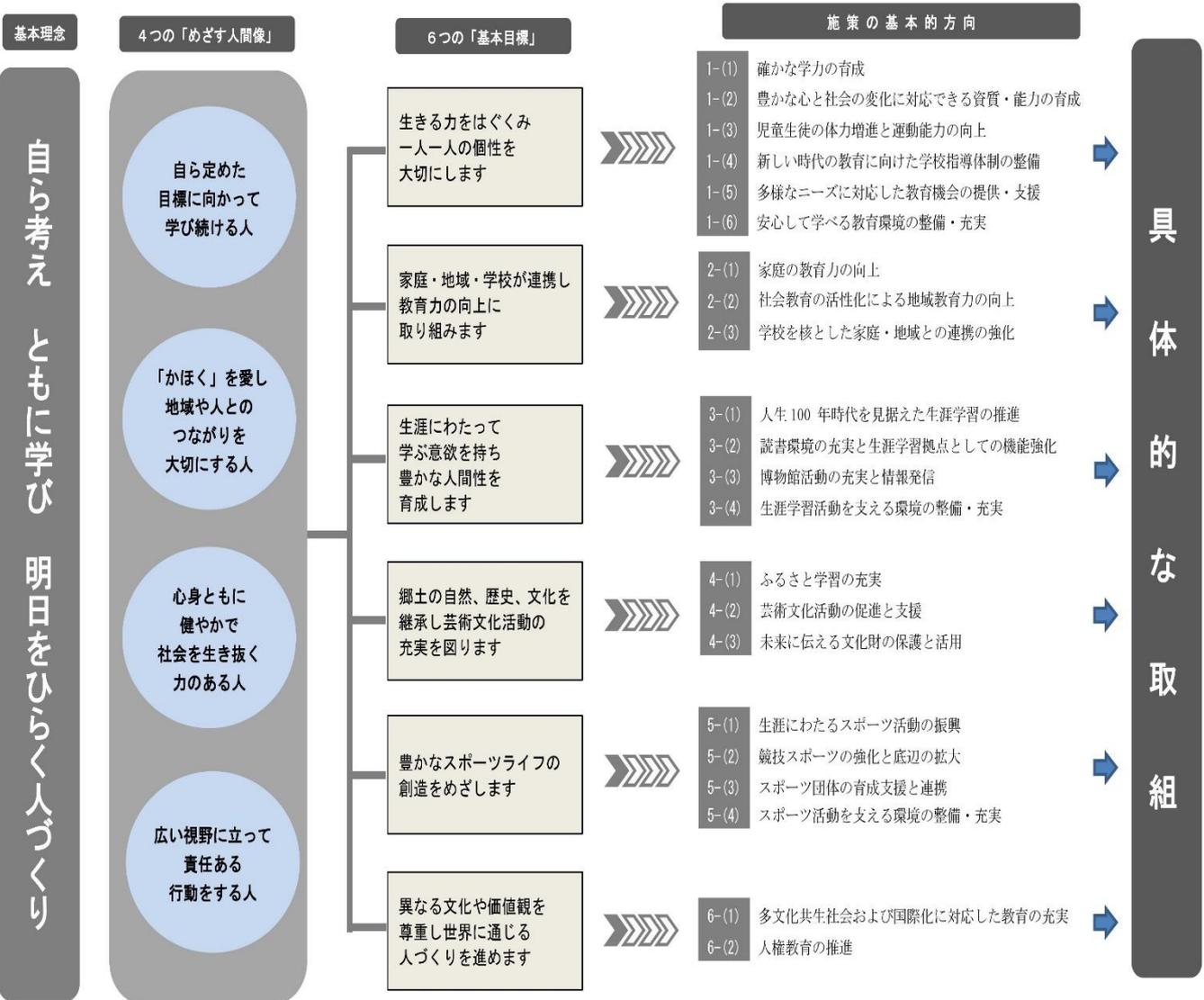
主な意見等
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本年度の石川県中学校体育大会においてもかなり多くの地域クラブが参加し上位に食い込んでいる。専門性を求める生徒が地域クラブへ加入している。地域クラブでは指導者に対する費用負担や研修等の必要性も出てくる。そのため、やりたい人にはそれに見合った費用も負担して頂くということによいと思う。</li><li>・ 平日の部活動が地域クラブへ移行すると活動時間帯が夜遅くになりがちとなり生徒の生活サイクルに合わないと思うので、活動時間帯についても議論して進めて頂きたい。</li></ul>

#### 【不登校児童生徒への対応について】

主な意見等
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 不登校児童生徒の増加については全国的な問題でかほく市でも増加傾向にあるが、スクールソーシャルワーカー、教育相談員、スクールカウンセラー、教員の連携で対処して評価項目が目標値を達成していることは評価する。不登校は長期化した後で何かをしようとしても難しい、察知したら短い期間で対処が必要であるし、そもそも不登校にならないような事前の手立てが必要である。</li><li>・ かほく市のSSR（校内教育支援センター）の構築に期待している。今後は広島県呉市が実施している教育支援センターやフリースクールなどと連携し、多様な居場所を提供している事例等も参考にして頂き是非よい方向に進めて頂きたい。</li></ul>

#### 【社会教育団体の活性化について】

主な意見等
<ul style="list-style-type: none"><li>・ かほく市七塚生涯学習センターには石川県内で2番目に大きな素晴らしい天体望遠鏡があるが、コロナの影響からか近年利用者が減少してきている。例えば社会教育団体である「星の会」の協力を得て小中学校の日中の太陽観測を行うことによる子供たちの天体に対する関心を高めるような活動を希望する。更にその他の社会教育団体も活性化するような施策の展開について希望する。</li></ul>



## 基本的方向 1 – (1) 確かな学力の育成

### ① 新学習指導要領の着実な実施と外国語教育の強化

担 当 課

学校教育課

<取組内容・成果>

#### 【外国語教育の取組】

- ・学習指導要領に示された、中学校における4技能（「聞く」「話す」「読む」「書く」）の習得をめざし、生徒の学習成果と課題を客観的に評価し、中学3年生に向けての授業改善を行うため、2年生全員にこれまでも行っていた標準学力調査（筆記試験）に加え、英語スピーキング調査を実施した。

（英語4技能試験結果の概要）

- ・リスニング（聞く力）については、全国平均をわずかに上回ることができた。また、ライティング（書く力）の力はこれまで同様本市の強みである。一方、スピーキング（話す力）に関しては、令和4年度同様に内容は適切だが、文法・表現に軽微な誤りがあるため正答に至らないケースが多く見られた。

<中学生英語4技能試験結果（中学2年生対象）>

※令和4年度以降（ ）内は、筆記試験による結果、READINGの（ ）の前は、スピーキングテストによる結果

	TOTAL	READING	LISTENING	WRITING	SPEAKING
令和元年度	403.6	87.4	97.3	126.3	92.1
令和2年度	422.0	88.2	95.3	146.2	91.8
令和2全国参考値	374.0	75.0	95.0	113.0	84.0
令和3年度	443.2	90.4	105.1	149.2	98.7
令和3全国参考値	399.0	82.0	93.0	134.0	87.0
令和4年度		70.0(64.8)	(60.1)	(58.0)	42.9
令和4全国参考値		(60.6)	(55.3)	(49.9)	
令和5年度		64.7(52.6)	(57.4)	(32.0)	37.4
令和5全国参考値		(50.7)	(56.2)	(29.6)	

- ・小学校における学習指導要領において外国語の教科化に伴い、平成30年度から全小学校3年生以上の英語の授業をTT授業で行うため、日本人英語指導助手5人を配置している。また、中学校には、外国語指導助手を各中学校に1人ずつ配置し、生徒の英語の実践的コミュニケーション能力の基礎を養った。

#### 【情報活用能力の育成】

- ・学習指導要領に示されたプログラミング教育については、(株)PFUの協力を得て、全小学校4年生以上において、プログラミング体験学習を実施した。また、その事前研修として、5・6年生担任を対象としたICT活用研修会を開催した。
- ・市教育センターでは、市学校教育研究会（情報教育推進部会）と連携し、「1人1台端末を活用した授業づくり」に関するGIGAスクール対応研修会を実施した。また、端末のより効果的な活用を促進するため、令和4年度に引き続き、ミライシードのムーブノートの使い方に関するオンライン研修会を希望者に実施した。
- ・学習指導要領の着実な実施に向け、保護者には学校の指導方針がしっかり伝わっていることが重要である。かほく市共通アンケート（保護者対象）において、「学校だよりや学年だより等で学校の指導方針や子供たちの様子などがわかりやすく伝わってきますか？」の問いに、「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」の両方を含めた回答は小学校では93.3%、中学校では93.1%であり年々増加していることからおおむね学校からの指導方針等は伝わっていると判断できる。

かほく市共通アンケート（保護者対象）

上段：令和3年7月調査 中段：令和4年7月調査 下段：令和5年7月調査

「学校だよりや学年だより等で学校の指導方針や子供たちの様子などがわかりやすく伝わってきますか？」

小学校		高松小	大海小	七塚小	外日角小	宇ノ気小	金津小	平均
「当てはまる」	R3	34.3%	61.6%	28.5%	37.3%	31.4%	49.2%	35.1%
	R4	38.7%	56.0%	32.4%	35.3%	29.4%	58.7%	35.5%
	R5	47.8%	54.1%	39.4%	42.3%	28.9%	61.0%	39.3%
「どちらかといえば当てはまる」	R3	58.8%	35.4%	67.6%	54.3%	61.2%	49.2%	58.3%
	R4	57.4%	44.0%	63.7%	56.5%	60.0%	39.7%	57.7%
	R5	48.5%	44.6%	56.3%	52.2%	60.0%	37.3%	54.0%

中学校		高松中	河北台中	宇ノ気中	平均
「当てはまる」	R3	34.3%	21.1%	28.3%	27.3%
	R4	22.8%	28.0%	26.5%	26.1%
	R5	27.0%	29.6%	26.6%	27.7%
「どちらかといえば当てはまる」	R3	58.2%	65.1%	61.2%	61.8%
	R4	68.9%	59.9%	64.9%	64.1%
	R5	68.6%	62.1%	66.1%	65.4%

肯定的評価	小	中
R2年度	93.4%	87.7%
R3年度	93.4%	89.1%
R4年度	93.2%	90.2%
R5年度	93.3%	93.1%

【今後の方向性】

- ・令和6年度には、小学校の担任及び中学校英語科担当教諭による情報交換会を行い、校種や校区を超えた教科連携を強化します。
- ・プログラミング教育については、これまでと同様、(株)PFUの協力を得て、全小学校4年生・6年生を対象としたプログラミング体験学習を実施します。
- ・1人1台端末の日常的・効果的な活用をめざし、各校のGIGA校内研修推進リーダーを対象に、前期の各校での実践交流をするなどにより、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めます。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査（7月調査）「学校だよりや学年だより等で学校の指導方針や子供たちの様子がわかりやすく伝わってくる」と回答した保護者の割合	小学校	37.9%	34.8%	35.1%	35.5%	39.3%	50.0%
	中学校	32.5%	29.2%	27.3%	26.1%	27.7%	50.0%
英語教育実施状況調査で「英語検定3級程度以上の英語力」を有する生徒の割合	中学校	55.0%	65.4%	68.8%	81.5%	64.2%	70.0%

## ② 学力調査等による現状把握と学習指導方法の改善

担当課	学校教育課
-----	-------

＜取組内容・成果＞

- ・全国学力・学習状況調査、県基礎学力調査、市学力調査の結果を活用し、学力等の現状分析を行い、教職員の指導改善につなげた。

	市	県（抽出調査）	国
小学4年生		国語・算数	
小学5年生	国語・算数		
小学6年生		社会・理科・英語	国語・算数
中学1年生	国語・数学 理科・社会		
中学2年生	国語・数学 理科・社会・英語		
中学3年生		社会・理科・英語	国語・数学

＜全国学力調査等におけるかほく市の平均点と石川県の平均点の比較＞

学年・科目		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
中学 3年生	国語A（知識）	0.7	0.0	2.0	2.0	中止	2.0	0.0	1.9
	国語B（活用）	1.5	0.0	3.0					
	数学A（知識）	2.4	▲2.0	2.0	2.0		3.0	▲1.0	0.4
	数学B（活用）	2.8	▲3.0	3.0					
	英語※H27～H30、R3、R4は県	0.3	▲5.1	▲0.7	2.0		0.9	▲2.7	1.1

学年・科目		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
小学 6年生	国語A（知識）	0.6	4.0	▲1.0	1.0	中止	3.0	1.0	▲1.0
	国語B（活用）	1.3	4.0	2.0					
	算数A（知識）	1.6	1.0	0.0	▲1.0		1.0	0.0	▲0.4
	算数B（活用）	2.1	2.0	1.0					

＜35人以下学級実現のための講師配置状況＞

	講師採用数	配置校	備考
平成25年度	2人	高松小(1)・宇ノ気小(1)	小学校5年を対象
平成26年度	3人	高松小(2)・宇ノ気小(1)	小学校5・6年を対象
平成27年度	2人	高松小(1)・宇ノ気小(1)	〃
平成28年度	2人	七塚小(1)・宇ノ気小(1)	〃
平成29年度	2人	高松小(1)・七塚小(1)	〃
平成30年度	1人	高松小(1)	〃
令和元年度	2人	外日角小(1)・宇ノ気小(1)	〃
令和2年度	1人	宇ノ気小(1)	〃
令和3年度	1人	七塚小(1)	〃
令和4年度～	0人		講師不足のため休止

【今後の方向性】

- ・1人1台端末を活用し、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めます。また、児童生徒の興味・関心に応じた目標に向けて、児童生徒自身が自らどのような方向性で学習を進めていけば良いかを考える「学習の個性化」の実現もめざしていきます。

- ・国や県が実施する学力や学習状況に関する調査及び市独自の学力テストの分析により、各学校において学力向上ロードマップ及び学力向上プランを策定し、学力向上P D C Aサイクルを確立するとともに、かほく市学校教育研究会の学力向上部会等を通じて、授業の工夫・改善について、指導・助言します。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のP D C Aサイクルを確立している」と回答した学校数	小学校	4校	—	6校	6校	6校	6校
	中学校	2校	—	3校	3校	3校	3校

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

### ③ 家庭学習の定着と充実

担当課	学校教育課
-----	-------

#### <取組内容・成果>

- ・かほく市共通アンケート調査（7月調査）で「自分で計画を立てて勉強している」と回答した割合が、小学校は令和4年度を下回り、中学校では、令和4年度を大幅に上回った。徐々にコロナ禍前の生活に戻りつつあると推測される。  
市学力向上部会（市学校教育研究会組織）が中心となり、これまでと同様に各学校が家庭学習の課題や時間について児童生徒が帰宅する前に見通しを持たせたことや「家庭学習カード」を活用することで、保護者に家庭学習への理解や協力を得ることに努めている。
- ・家庭での情報機器の正しい使い方、動画の視聴やSNSなどの書き込みなど、児童生徒が規則正しい生活が送れるよう、情報モラル教育を各校で実施している。
- ・小中連携協議会において、各中学校区において小中で連携してネットルールを確認するなど、端末の活用方法についての共通理解を図った。

#### 【今後の方向性】

- ・児童生徒用端末の家庭への持ち帰りを想定した家庭学習への取組として、個に応じた課題を与えたり、児童生徒が自ら選択して取り組むことができるようにしたりするなどの指導を引き続き行います。また、保護者自身がICTを活用した家庭学習の重要性を理解し、協力が得られるように努めます。
- ・市学力向上部会が中心となり、児童生徒が計画的に学習を進めることができるよう、小学校においては毎月1回、中学校においては定期テスト毎の家庭学習強化週間を設け、保護者から励ましのメッセージをもらうなど、家庭と連携して学習意欲の向上を図っていきます。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査（7月調査）で「自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合	小学校	55.3%	46.7%	46.9%	45.1%	41.8%	60.0%
	中学校	35.9%	28.4%	33.6%	23.4%	34.0%	60.0%
かほく市共通アンケート調査（7月調査）で、「平日、メールやライン等のSNSやインターネット等を行っている時間数が1時間未満」と回答した児童生徒の割合（※）	小学校	53.3%	49.6%	50.4%	44.5%	44.4%	80.0%
	中学校	38.1%	31.5%	29.9%	27.0%	21.7%	80.0%

（※）基本的方向2-(1)③の数値目標と同様

#### ④ 認定こども園と小学校、小学校と中学校との連携強化

担当課 学校教育課

<取組内容・成果>

[幼小連携について]

- ・認定こども園と小学校が、「『架け橋期の目標』の具現化を意識した指導の充実」を取組の重点とし、幼小連携協議会や相互参観、重点交流活動を通して、幼児教育と小学校教育の接続について共通理解・共通実践を図った。

◇相互参観（4～6月）

- ・各小学校区で、新小学1年生・5歳児の様子や指導・保育の状況を相互に参観

（第1回幼小連携協議会） 期日 令和5年8月25日（金）

内容：講義と協議（1学期（相互参観）の振り返りと2学期の取組（重点交流活動）について）

◇重点交流活動（10～11月）

- ・各小学校区で「あきとなかよし（5歳児と小学1年生等の交流活動）」を実施

（第2回幼小連携協議会） 期日 令和6年2月2日（金）

内容：うのけ幼稚園（宇ノ気小校区）の実践紹介と協議（今年度の振り返りと次年度に向けて）

- ・幼児教育と小学校教育の接続を円滑に行うために、「3つの視点（①「架け橋期の目標」につながる子供の姿、②環境の構成・環境づくり、③先生の援助）」を意識した指導を推進した。

[小中連携について]

- ・小中学校の連携については、各中学校区で小中9年間を通した児童生徒の育成をめざし、小中連携協議会（テーマに沿った協議・情報交換）や授業参観等を開催した。

◇小中連携協議会

〔高松中校区〕 期日：令和5年8月28日（月）

会場：高松中学校

内容：各校の取組の発表・協議（効果的なタブレットの活用など）

〔河北台中校区〕 期日：令和5年8月7日（月）

会場：河北台中学校

内容：テーマ別協議（前期GIGAの取組など）

〔宇ノ気中校区〕 期日：令和5年8月9日（水）

会場：宇ノ気中学校

内容：講義・演習（特別支援教育の考え方と合理的配慮について）

【今後の方向性】

- ・「幼小接続カリキュラム（接続推進計画）」に基づき、架け橋期の目標（育成をめざす資質・能力）を具現化する教育活動を推進します。令和6年度は、これまでの取組に加え、3視点を意識した日々の教育活動の充実をめざし、幼小連携の更なる充実を図ります。
- ・「学びの連続性」を意識した継続性・連続性のある小中連携した指導を強化し、学力向上や生徒指導、特別支援教育等の充実を図ります。令和6年度は、各中学校区の教育目標（めざす子ども像）の達成に向け、小中連携協議会や授業参観等、年間を通した小中連携の取組をより一層推進します。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
幼小連絡協議会（認定こども園と小学校）の開催回数		2回	2回	2回	2回	2回	4回
全国学力・学習状況調査で「近隣等の小中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った」と回答した学校数	小学校	1校	—	4校	5校	6校	6校
	中学校	0校	—	3校	3校	3校	3校

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

## 基本的方向 1－(2) 豊かな心と

### 社会の変化に対応できる資質・能力の育成

#### ① 道徳教育の推進

担当課	学校教育課
-----	-------

##### <取組内容・成果>

- ・各学校において、毎年、児童生徒の実態や保護者などの願いなどの現状を踏まえた上で、道徳教育における重点目標を定め、各学年における具体的な取組を進める全体計画（年間指導計画）を策定し、「考える道徳、議論する道徳」について共通理解を図り、各校における教科指導や特別活動での指導を含め、道徳教育を推進した。
- ・西田幾多郎記念哲学館と連携し、共通道徳からふるさと教育として内容を変更し、小学5年生及び中学2年生を対象に小学校では「西田幾多郎の生涯を中心に、その人となりを学習する」、中学校では「西田幾多郎の生涯からその哲学までを学び、自己を見つめ、これからの生き方を考える」をテーマとし、哲学対話や講話を実施した。また、大海小学校において「小学生の哲学対話」を1学期と3学期に全学年を対象に開催した。
- ・令和4年度のいしかわ道徳教育推進事業の県指定校であった河北台中学校の公開研究発表会での取組の普及・啓発の成果もあり、授業におけるICTを活用した問題意識を持たせる導入の工夫や、心情メーター等を活用した、多面的・多角的に考える工夫が多く見られるようになった。

##### 【今後の方向性】

- ・「考え、議論する道徳」の具現化に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業改善を進め、問題解決的な学習を進めるなど、発達段階を踏まえた効果的な指導方法の工夫・改善に引き続き取り組みます。
- ・学校における道徳教育を充実させるために、学校と家庭や地域社会との連携を密にするため、意図的、計画的な道徳の授業公開や、道徳教育に関わる情報発信を引き続き行っていきます。
- ・地域教材の活用として、郷土の偉人である西田幾多郎について、その生き方や考え方を学び、郷土への愛情を育むため西田幾多郎記念哲学館と連携した「ふるさと教育～西田幾多郎から学ぶ～」を実施します。小学5年生は、道徳の授業「吾行く道を吾はゆくなり」の実施と「哲学対話」、中学2年生は「西田幾多郎記念哲学館」の見学と講話を通して自己を見つめ、これからの生き方を考えます。
- ・1人1台端末など、ICTを効果的に活用した道徳の授業づくりに引き続き取り組みます。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合	小学校	23.5%	—	23.8%	24.2%	38.8%	50.0%
	中学校	12.8%	—	18.1%	14.5%	32.4%	50.0%
全国学力・学習状況調査で「児童・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童生徒の割合	小学校	33.4%	—	40.9%	39.0%	35.3%	50.0%
	中学校	34.4%	—	40.5%	38.3%	42.2%	50.0%

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

## ② 自己肯定感の育成と発達段階に応じたふるさとキャリア教育の推進

担当課

学校教育課

### <取組内容・成果>

- ・全ての中学校で、例年夏季休業中に行っている「職場体験活動」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施できなかったことが続いていたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、市内事業者の協力の下、実施しました。
- ・かほく市共通アンケート調査の「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対し、「当てはまる」と答えた割合は令和4年度と比較しても小学校 1.0%、中学校 2.9%減少し、かつ、目標値に達することができなかった。数値が上がらなかった要因の一つとしては、新型コロナウイルス感染症の影響により、コミュニティ・スクールを含めた全ての活動が制限されたものと推測する。夢や希望を持った子供を一人でも多く育てていくことを第一に考え、地域を知る活動や地域の方々からいろいろな話を聞き、今の学びが将来に生きることを深く考える取組、また、家族・身近な人の仕事調べ、社会見学や工場見学を通じて働く人々の姿に触れる体験的活動を今後も継続的に取り組んでいく必要がある。
- ・多くの生徒の新たな学びにつながる事業を展開
  - \* 市長による特別授業 「かほく市のまちづくり」を実施（3中学校）  
かほく市の魅力を再認識し、市の将来に対して希望を見出し、かほく市に愛着と誇りを持つことを目的に実施した。
    - ・高松中学校 11月22日 ・河北台中学校 11月16日 ・宇ノ気中学校 11月17日

### 【今後の方向性】

- ・職場体験活動については、引き続き地域事業者の更なる協力、また、イオンモール・イオンリテールの協力を得ながら多種多様な職場を選択できるよう学校コーディネーターとも連携しながら実施に向けた検討を行い、夢や希望を持った子供を一人でも多く育て、また、ふるさとに根ざして働く人々の姿に触れる体験的活動に取り組みたい。
- ・将来を担う若者たちに勤労観、職業観を育み、自立できる能力をつけることを目的としたキャリア教育を推進することにより、働くことの大切さや、やりとげる達成感などを実感し、感謝する心が育まれる活動を進めていきます。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査（7月調査）「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合	小学校	72.9%	66.7%	68.5%	67.4%	66.4%	80.0%
	中学校	54.7%	50.8%	49.8%	47.6%	44.7%	60.0%
かほく市共通アンケート調査（7月調査）「自分には、よいところがある」と回答した児童生徒の割合	小学校	55.4%	54.8%	54.9%	53.5%	53.5%	70.0%
	中学校	37.1%	35.9%	34.3%	36.3%	39.6%	60.0%

### ③ 学校における体験活動や読書活動の推進

担当課

学校教育課

<取組内容・成果>

- ・児童生徒の読書習慣、読書意欲の向上はもちろんのこと、読書は学力にも大きな影響を与え、また、教職員の補助として教材等の準備など、教職員の求めに対応するため、継続して全小中学校に学校司書を1人ずつ配置した。

令和5年度全国学力調査・学習状況調査における読書と学力の関係（小学校6年）	児童数	児童数の割合	平均正答率	
			国語	算数
読書が好きと回答	129人	40.3%	73.2	69.5
どちらかといえば、読書が好きと回答	96人	30.0%	72.4	67.5
どちらかといえば、読書が嫌いと回答	59人	18.4%	66.7	62.4
読書が嫌いと回答	36人	11.3%	64.7	59.2
どちらともいえない、欠席・無回答	0人	0.0%	—	—

\* 全国学力調査・学習状況調査は未実施であるが、市独自で実施

令和5年度全国学力調査・学習状況調査における読書と学力の関係（中学校3年）	生徒数	生徒数の割合	平均正答率		
			国語	数学	英語
読書が好きと回答	97人	37.9%	80.8	64.2	56.3
どちらかといえば、読書が好きと回答	68人	26.6%	73.8	54.4	48.4
どちらかといえば、読書が嫌いと回答	46人	18.0%	76.7	53.5	49.9
読書が嫌いと回答	45人	17.6%	61.9	44.9	40.9
どちらともいえない、欠席・無回答	0人	0.0%	—	—	—

\* 全国学力調査・学習状況調査は未実施であるが、市独自で実施

- ・すぐれた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図るほか、県内文化芸術の振興に資することを目的として児童・生徒を対象とした「芸術鑑賞推進事業」を実施した。
  - \* オーケストラ鑑賞（中学生対象）の開催 6月2日（金）高松中学校
  - \* スクールシアター（小学5年生対象）の開催 5月30日（火）河北台中学校講堂
  - \* かほく市小学校音楽会  
各学校で開催・撮影した作品を映像化し、各小学校やケーブルテレビで放映した。

【今後の方向性】

- ・新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に引き下げられたことから、校外活動やコミュニティ・スクールにおいては、業務改善も図りながら、できる限り実施に向けた検討を行い、自然体験活動や集団活動、国際交流体験など、様々な体験活動の推進を図ります。
- ・読書は学力に大きな影響を与えており、全国的にも読書が好きな子供は学力が高いという結果が出ていることから、「かほく市子どもの読書活動推進計画」に基づき、児童生徒の読書習慣、読書意欲の向上、また、委員会活動等を通して、子供の自主的な読書活動の推進を図ります。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「学校の授業時間以外に1日当たり30分以上読書をする」と回答した児童生徒の割合（※）	小学校	49.0%	—	35.7%	39.4%	30.6%	50.0%
	中学校	22.5%	—	23.4%	6.5%	19.1%	35.0%

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

（※）基本的方向3-(2)③の数値目標と同様

## 基本的方向 1－(3) 児童生徒の体力増進と運動能力の向上

① 学校における運動機会の充実																																																																		
担当課		学校教育課																																																																
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県内の小学校が参加し、インターネットを通じて自分のクラスの順位を競い合う「スポチャレいしかわ」に全小学校が登録し、記録やランキングを上げる楽しさや運動そのものの楽しさ、また、仲間と取り組む楽しさを実感できるよう取り組んだ。 (表彰学級は以下の通り)</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td rowspan="5">「ベスト部門」</td> <td>* スポチャレ・シャトルボール</td> <td>6年の部</td> <td>1位</td> <td>宇ノ気小学校</td> <td>6年1組</td> </tr> <tr> <td>* スポチャレ・8の字</td> <td>1年の部</td> <td>3位</td> <td>高松小学校</td> <td>1年2組</td> </tr> <tr> <td>* スポチャレ・8の字</td> <td>4年の部</td> <td>2位</td> <td>高松小学校</td> <td>4年3組</td> </tr> <tr> <td>* スポチャレ・8の字</td> <td>4年の部</td> <td>4位</td> <td>七塚小学校</td> <td>4年2組</td> </tr> <tr> <td>* スポチャレ・8の字</td> <td>5年の部</td> <td>4位</td> <td>七塚小学校</td> <td>5年2組</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">「チャレンジ部門」</td> <td>* スポチャレ・シャトルボール</td> <td>3年の部</td> <td>1位</td> <td>宇ノ気小学校</td> <td>3年4組</td> </tr> <tr> <td>* スポチャレ・8の字</td> <td>1年の部</td> <td>2位</td> <td>高松小学校</td> <td>1年2組</td> </tr> <tr> <td>* スポチャレ・8の字</td> <td>5年の部</td> <td>4位</td> <td>七塚小学校</td> <td>5年1組</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第18回いしかわっ子駅伝交流大会に県内から男子59チーム、女子57チームが出場。かほく市からは、男子は全小学校、女子は高松小学校、七塚小学校、外日角小学校、宇ノ気小学校が参加 (成績は以下の通り)</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>「男子の部」</td> <td>4位</td> <td>高松小学校</td> <td>「女子の部」</td> <td>2位</td> <td>宇ノ気小学校</td> <td>4位</td> <td>高松小学校</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小学校6年生を対象とした小学生体育大会を前年に引き続き実施した。800m走、ロケットボール投げ、走り幅跳びの3種目を行った。 (実施初年度：平成26年度)</li> <li>・中学校においては、加賀地区中学校体育大会をはじめ、石川県中学校総合体育大会、北信越中学校総合競技大会及び全国中学校体育大会が開催された。 (主な成績)</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>北信越大会「剣道競技」:</td> <td>男子団体3位・女子団体3位 (宇ノ気中学校)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>女子個人優勝 中農陽 (宇ノ気中学校)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>女子個人3位 森瑞姫 (宇ノ気中学校)</td> </tr> <tr> <td>「陸上競技」:</td> <td>女子2年100m第2位 能口心和 (河北台中学校)</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校においては、今後も「スポチャレいしかわ」の種目に全小学校が学級ごとに登録し、記録やランキングを上げる楽しさ、運動そのものの楽しさ、仲間と取り組む楽しさを学ぶとともに、日常的に体力づくりに取り組んでいきます。</li> <li>・中学校については、今後の重要課題となる部活動地域移行を念頭に置き、まずは休日の部活動を地域に移行させるための取組を部活動の種目毎に実施しつつ、活動時間や休養日に関する取組をこれまでどおり進めるとともに、成長期にある生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスのとれた生活を送ることができるよう、学校・地域と連携を図りながら運動機会の充実に取り組んでいきます。</li> </ul>									「ベスト部門」	* スポチャレ・シャトルボール	6年の部	1位	宇ノ気小学校	6年1組	* スポチャレ・8の字	1年の部	3位	高松小学校	1年2組	* スポチャレ・8の字	4年の部	2位	高松小学校	4年3組	* スポチャレ・8の字	4年の部	4位	七塚小学校	4年2組	* スポチャレ・8の字	5年の部	4位	七塚小学校	5年2組	「チャレンジ部門」	* スポチャレ・シャトルボール	3年の部	1位	宇ノ気小学校	3年4組	* スポチャレ・8の字	1年の部	2位	高松小学校	1年2組	* スポチャレ・8の字	5年の部	4位	七塚小学校	5年1組	「男子の部」	4位	高松小学校	「女子の部」	2位	宇ノ気小学校	4位	高松小学校	北信越大会「剣道競技」:	男子団体3位・女子団体3位 (宇ノ気中学校)		女子個人優勝 中農陽 (宇ノ気中学校)		女子個人3位 森瑞姫 (宇ノ気中学校)	「陸上競技」:	女子2年100m第2位 能口心和 (河北台中学校)
「ベスト部門」	* スポチャレ・シャトルボール	6年の部	1位	宇ノ気小学校	6年1組																																																													
	* スポチャレ・8の字	1年の部	3位	高松小学校	1年2組																																																													
	* スポチャレ・8の字	4年の部	2位	高松小学校	4年3組																																																													
	* スポチャレ・8の字	4年の部	4位	七塚小学校	4年2組																																																													
	* スポチャレ・8の字	5年の部	4位	七塚小学校	5年2組																																																													
「チャレンジ部門」	* スポチャレ・シャトルボール	3年の部	1位	宇ノ気小学校	3年4組																																																													
	* スポチャレ・8の字	1年の部	2位	高松小学校	1年2組																																																													
	* スポチャレ・8の字	5年の部	4位	七塚小学校	5年1組																																																													
「男子の部」	4位	高松小学校	「女子の部」	2位	宇ノ気小学校	4位	高松小学校																																																											
北信越大会「剣道競技」:	男子団体3位・女子団体3位 (宇ノ気中学校)																																																																	
	女子個人優勝 中農陽 (宇ノ気中学校)																																																																	
	女子個人3位 森瑞姫 (宇ノ気中学校)																																																																	
「陸上競技」:	女子2年100m第2位 能口心和 (河北台中学校)																																																																	
数値目標項目			R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)																																																										
全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好き」と回答した児童生徒の割合	小学校	男子	70.9%	—	66.7%	73.8%	68.1%	75.0%																																																										
		女子	61.2%	—	61.5%	61.2%	50.0%	65.0%																																																										
	中学校	男子	63.1%	—	60.5%	60.4%	66.7%	70.0%																																																										
		女子	48.9%	—	44.3%	48.3%	45.3%	50.0%																																																										

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

## ② 健康づくり、体力向上をめざす教育の充実

担当課

学校教育課

<取組内容・成果>

- ・体力・運動能力調査等の結果を踏まえ、児童生徒の体力向上及び健康の保持増進を図る取組として、各小中学校において「体力アップ1校1プラン」を実施し、体力向上に関する指標及び目標数値を示し、目標達成に向けたプランを実施した。

学校・プラン名	目標指標・数値
高松小学校 高松っ子体力アップ大作戦	・新体力テスト「反復横跳び」の数値記録を昨年度より上回る
大海小学校 仲間と楽しくニコニコ走力アップ	・50m走において、県平均を越える。 ・スポチャレいしかわにおいて、全学級でブロンズを上回る。
七塚小学校 七塚げんきっず体力アップ計画 ～握力をアップさせるぞ～	・本校の総合評価における「A群+B群を65%以上」をめざす。 ・本校の総合評価における「D群+E群を10%以下」をめざす。 ・「握力」「50m走」の項目について、平均値を上回る学年を増やす。
外日角小学校 外日角っ子投力アッププラン	・「ソフトボール投げ、長座体前屈」について、県平均を上回る学級を3つ以上にする。
宇ノ気小学校 うのけっこ体力アッププロジェクト	・「ソフトボール投げ」において、各学年男女6グループのうち、4グループ以上が県平均を上回る。
金津小学校 金津っ子運動エンジョイプラン	・12月に児童対象のアンケート調査を実施し、運動が楽しい、進んで体を動かしているという割合を95%以上にする。
高松中学校 高松中体力向上計画	・県平均を下回っていた種目が県平均を上回るようにする。
河北台中学校 全身持久力を高めよう	・20mシャトルランの計測において、全学年男女ともに記録が県平均と同等もしくは上回るようにする。
宇ノ気中学校 体力アップマイプラン (体力アップチャレンジ)	・50m走(秒) 男子1年8.64 2年8.00 3年7.56 女子1年9.21 2年8.95 3年8.86 ・立幅跳(cm) 男子1年183.6 2年202.4 3年216.2 女子1年165.4 2年170.7 3年173.6 ※令和4年度県平均値を参考に設定 ・A+B群60%以上、D+E群15%以下 ※令和4年度宇ノ気中学校の数値を参考

【今後の方向性】

- ・引き続き、全国体力・運動能力調査の結果を分析し、児童生徒の実態や学校の実情に即した「体力アップ1校1プラン」を推進するとともに、結果を活用した体育の授業や学校独自の取組を展開します。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
(数値目標追加) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (学校質問紙)で「学校の体育授業について、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校数	小学校	5校	—	2校	3校	6校	6校
	中学校	2校	—	2校	2校	3校	3校

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

### ③ 安全でおいしい給食の提供、食育の推進

担当課

学校教育課

#### <取組内容・成果>

- ・栄養バランスを大切に、季節や旬、イベントなどを捉えた興味深い献立を年間通じて企画・提供を行った。今年度も毎月1回「ふるさと給食の日」として、旬の地場産物や地元産品を素材にした献立を年間通じて行い、給食日より「ふるさと給食」について紹介した。  
小学校の一部で、「ふるさと給食について知ろう」をテーマに食育の授業を実施し、中学校では家庭科で地場産物を使った献立作りを行った。  
また、小中学校で保護者対象の試食会も実施した。
- ・継続した食育の一環として、稲作体験、かぼっくりの定植や収穫、紋平柿の収穫や脱渋などの農業体験を行った。また、米飯給食については、差額補填によって河北郡市産コシヒカリ一等米を提供した。
- ・食物アレルギーを持つ児童生徒は増加傾向にあり、十分な配慮を行うため、第1及び第2学校給食センターは、保護者や主治医、学校医とも連携を図り安全で安心できる学校給食を提供した。
- ・引き続き、学校司書とのコラボレーションで絵本に出てくる料理を学校給食として提供し、学校給食に対する関心を更に高めることができた。また、給食時には校内放送で絵本の紹介をした。
- ・学校給食費の物価高騰対策として、小学校、中学校の給食単価にそれぞれ1食当たり20円を上乗せ補助した。

#### 【今後の方向性】

- ・引き続き、地元食材・加工品の提供を推進し、関係機関と連携を図りながら地産地消を推進します。
- ・児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、小中学校における学習指導要領に基づき、各教科等を通じた食育を推進します。
- ・生産者を招いての給食試食会などの行事を通じて、食に感謝する機会を設けます。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
学校給食産地調査(11月調査)で、総食品数中の石川県産の食品数の割合	小学校	29.9%	—	—	35.4%	38.8%	30.0%
	中学校	33.2%	—	—	44.1%	41.0%	30.0%
学校給食産地調査(11月調査)で、総食品数中のかほく市産の食品数の割合	小学校	17.1%	—	—	30.3%	29.1%	25.0%
	中学校	22.5%	—	—	34.8%	32.0%	25.0%

※令和2年度、令和3年度の学校給食産地調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

## 基本的方向 1－(4) 新しい時代の教育に向けた学校指導体制の整備

① 教職員の資質の向上と組織的な学校経営							
担当課		学校教育課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校組織の機能化や若手の成長に積極的に参画・貢献するために必要な資質の向上を図り、組織的な学校運営に必要なリーダー的人材の育成を目的に、校長の推薦する者（中堅教職員）を対象として市教職員ミドルリーダー研修会を実施した。教育長の講話、今日的課題をテーマとしたグループ協議と現教頭からの指導・助言により、リーダーとしての意識の向上に繋がった。</li> <li>各学校において、計画的な校内研究や若手教職員に中堅・ベテラン教職員の経験や知識・スキルを継承させ、早期の人材育成を図るため、校内若手教育研修や面談を実施し、「組織的な学校経営」に資する研修を実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校が抱える諸課題に対して、組織的に解決していく力が更に高まるよう、リーダー的人材の育成を更に図っていきます。特に、若手リーダー育成のための研修会の外に現リーダーの資質向上を図るための懇談を実施していきます。 また、今後も「社会に開かれた教育課程の実現」に向け、地域人材を積極的に活用し、児童生徒の深みのある学びにつなげます。</li> <li>引き続き、校内若手教育研修の充実を図るとともに、学校内において実施されるOJTを通じて、日常的に学びあう校内研修の充実を図ります。また、学校や教職員の要望に応じて、専門性を有する人材や指導主事が学校に出向き、校内研修をサポートします。さらに、教育センターにおいても、例えば、特別支援の担当教職員と支援員が共に学べるような会にするなど、連携をより強化できるような研修会を継続実施していきます。</li> </ul>							
数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「教職員は、校外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている」と回答した学校数	小学校	2校	—	6校	—	—	6校
	中学校	1校	—	3校	—	—	3校
コミュニティ・スクールの取組による小中学校への参画人数(登下校の見守り除く)(※)		1,765人	1,614人	1,370人	1,702人	1,874人	2,000人
<p>※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止。令和4年度以降の調査において当該調査項目なし</p> <p>(※) 基本的方向 2-(3)①②の数値目標と同様</p>							

## ② 教育センターにおける時代の変化に対応した研修の実施

担 当 課

学校教育課(教育センター)

### <取組内容・成果>

- ・教職員研修については、参加する教職員の職務や研修の内容等に応じて、基本研修・指定研修・特別研修に体系化し、計画的に実施することができた。
- \* 基本研修（新任教職員研修会、初任者研修会） 2回  
かほく市の教育の現状とかほく市がめざす学校教育を理解することを目的とした新任教職員研修会のほか、ふるさとの歴史や文化・産業についての理解を深める初任者研修会を開催した。
- \* 指定研修（主任等研修会ほか 10 研修会） 15 回  
教務主任、研究主任、生徒指導主事を対象とした主任等研修会のほか、教育相談員研修会、特別支援教育担当者研修会、学校図書館教育研修会など、職務に関する教職員の資質向上を図るための研修会を開催し、学校教育の向上に寄与することができた。
- \* 特別研修（教科研修会、特別支援教育〔オンライン〕研修会ほか 5 研修会） 8 回  
令和5年度かほく市教育目標（重点目標）や今日的な教育課題に関する研修として、教科研修会（算数・数学／理科）、特別支援教育〔オンライン〕研修会、不登校問題対応研修会、G I G Aスクール対応研修会、ミドルリーダー研修会を開催した。講義やグループ協議を通して現状の把握や今後の指導改善に資することができた。

### 【今後の方向性】

- ・かほく市教育目標（重点目標）の実現や今日的な教育課題に対応するため、小中連携を大切にした教職員の授業力や特別支援教育、いじめ・不登校等の研修を充実します。  
\* 教科研修会（国語／社会）、特別支援教育研修会、不登校対応〔オンライン〕研修会、G I G Aスクール対応研修会など
- ・教職員の多忙化改善に配慮しながら、県費負担教職員の研修を精選・充実するとともに、特別支援教育支援員、学校司書、英語アシスタント、教育相談員などの市費配置職員（会計年度任用職員）の資質・能力を育成する研修会を充実します。
- ・市学校教育研究会と連携し、「小小」・「中中」及び「小中」連携を大切にした研修会を充実させ、教職員の資質・能力の育成を図ります。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
時代の変化に対応した教職員研修の開催回数 (授業力向上研修・不登校問題対応研修・特別支援教育研修)	10 回	8 回	11 回	10 回	9 回	12 回
教員の多忙化に配慮した教職員研修の開催回数	28 回	21 回	23 回	28 回	27 回	20 回

### ③ 教職員の働き方改革の推進

担当課 学校教育課

#### <取組内容・成果>

- ・学校現場における教職員の業務負担の軽減を図るため、更に部活動指導員を1人増員した。
- ・多忙化改善に向けて、オフシーズンの部活動の活動時間の縮減を図り、また、授業の標準時数を確保しながら、年度末の授業を最小限とした。
- ・教職員の意識の向上が高まり、特に中学校において時間外勤務時間が月80時間を超える人数の減少傾向が続いている。スクール・サポート・スタッフや部活動指導員等の活用に工夫が見られ成果として数値に現れている。
- ・毎月の市校長会で現状をきめ細かく報告し、改善手段を示していることも、減少傾向の要因と考える。

かほく市立学校教職員の時間外勤務状況結果

小学校		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和 元年度	時間外勤務 80 時間超	29	23	25	14	0	13	20	12	2	1	3	2
	調査対象教職員数	123	123	122	122	122	122	124	124	124	123	124	122
令和 2年度	時間外勤務 80 時間超	2	0	8	4	0	5	5	5	0	0	3	5
	調査対象教職員数	121	122	122	122	123	123	123	123	123	123	123	123
令和 3年度	時間外勤務 80 時間超	14	9	8	0	0	2	5	1	1	0	2	0
	調査対象教職員数	123	123	123	123	123	123	122	122	122	122	123	123
令和 4年度	時間外勤務 80 時間超	5	3	9	0	0	4	3	2	1	0	1	1
	調査対象教職員数	129	131	128	129	126	128	128	128	128	127	129	129
令和 5年度	時間外勤務 80 時間超	8	6	6	0	0	2	5	2	0	0	1	1
	調査対象教職員数	127	127	127	127	126	125	126	125	125	126	126	126

中学校		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和 元年度	時間外勤務 80 時間超	40	41	40	31	6	40	37	32	23	22	24	0
	調査対象教職員数	69	69	69	69	69	70	70	70	70	70	70	70
令和 2年度	時間外勤務 80 時間超	0	0	32	32	15	30	35	21	18	9	12	16
	調査対象教職員数	68	68	68	68	68	68	68	68	67	67	67	67
令和 3年度	時間外勤務 80 時間超	30	28	30	25	0	21	27	18	10	7	1	4
	調査対象教職員数	71	71	71	71	71	71	70	70	70	70	70	70
令和 4年度	時間外勤務 80 時間超	35	20	33	22	0	27	24	12	4	1	3	2
	調査対象教職員数	69	69	69	69	69	68	68	68	67	67	67	67
令和 5年度	時間外勤務 80 時間超	23	16	19	19	0	9	15	11	3	1	4	0
	調査対象教職員数	68	68	68	68	68	68	68	67	67	67	67	67

\* 令和2年3月から5月までについては、新型コロナウイルス感染症の影響のため学校臨時休業

\* 令和2年8月については、新型コロナウイルス感染症の影響のため夏季休業が短縮

#### \* スクール・サポート・スタッフ配置数

令和2年度 2人（宇ノ気小・宇ノ気中 各1人）

令和3年度 4人（宇ノ気小・高松中・河北台中・宇ノ気中 各1人）

令和4・5年度 7人（高松小・七塚小・外日角小・宇ノ気小・高松中・河北台中・宇ノ気中 各1人）

#### \* 部活動指導員配置数

令和2年度 3人（高松中1人・河北台中1人・宇ノ気中1人）

令和3年度 6人（高松中1人・河北台中3人・宇ノ気中2人）

令和4年度 9人（高松中2人・河北台中3人・宇ノ気中4人）

令和5年度 10人（高松中3人・河北台中3人・宇ノ気中4人）

【今後の方向性】

- ・引き続き、これまでの働き方を見直し、限られた時間の中で専門性を生かし教職員の本務である教材研究や子供と向き合う時間を十分に確保するという観点に立った意識改革を進めます。
- ・これまでの統一的取組である部活動の活動時間又は休養日、リフレッシュウィーク、定時退庁日などの取組を示した「かほく市立学校教職員多忙化改善方針」の徹底を図ります。
- ・市校長会や主任研修会等を通じて、学校にも現状を報告し、意識の向上を更に図ります。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
時間外勤務が月80時間超の教職員数（年間延べ人数）	小学校	144人	37人	42人	29人	31人	0人
	中学校	336人	229人	201人	183人	120人	0人

## 基本的方向 1 - (5) 多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援

### ① 特別支援教育の充実

担当課		学校教育課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別に配慮の必要な児童にきめ細かに対応するため、特別支援教育支援員を小学校全校に配置し、学習活動の円滑な運営の支援を行った。また、令和5年度から特別支援学級の在籍児童が特に多い4学級に専任支援員を1人配置し、より個々に対応した支援を行った。</li> </ul>							
		小学校配置人数	中学校配置人数	計			
	平成25年度	8人	2人	10人			
	平成26年度	9人	1人	10人			
	平成27年度	9人	1人	10人			
	平成28年度	11人	1人	12人			
	平成29年度	13人	2人	15人			
	平成30年度	13人	2人	15人			
	令和元年度	14人	3人	17人			
	令和2年度	14人	3人	17人			
	令和3年度	17人	0人	17人			
	令和4年度	17人	0人	17人			
	令和5年度	21人	0人	21人			
<p>※令和5年度、短時間勤務2人を1人として換算</p>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の通常学級に在籍している児童の中で、言語発達遅滞を中心として何らかの個別支援を必要としている児童のために、通級指導教室「ことばの教室」を宇ノ気小学校に2学級設置して専門的な支援を行った。</li> <li>・個別支援が適切に行えるように、特別支援教育コーディネーターを中心とし、かほく市共通個別支援シートの活用を推進した。</li> <li>・こども発達相談支援センター（健康福祉課）の精神保健福祉士と学校教育課職員が保育園や学校を巡回し、情報の共有を図り、その対応についての方向性を確認した。</li> </ul>							
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、支援員の一層の資質向上をめざし、随時研修会を実施していきます。</li> <li>・就学前の早期発見や適切な支援が行われるよう、こども総合センター（こども家庭課）、こども発達相談支援センター（健康福祉課）、学校教育課の連携を促進し、巡回指導や情報の共有を図ることで、よりきめ細かな対応を展開していきます。</li> <li>・障がいのある児童生徒の自立と社会参加に向けた取組、また、障がいのない子供と共に活動し学びあう交流及び共同学習の推進を図ります。</li> </ul>							
数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「学校の教員は、特別支援教育について理解し、児童・生徒の特性に応じた指導上の工夫をよく行った」と回答した学校数	小学校	3校	—	5校	3校	3校	6校
	中学校	1校	—	3校	2校	2校	3校
<p>※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止</p>							

## ② いじめ等への対応の徹底

担 当 課

学校教育課

<取組内容・成果>

- ・生徒指導提要の改訂等を受け、かほく市いじめ防止基本方針を見直すとともに、かほく市いじめ問題対策連絡協議会を令和5年12月13日に開催し、各学校へも改定内容の周知を図った。
- ・平成27年度から小中学校全児童生徒の心の変化を観察するためQ U調査を実施していたが、令和3年度から年1回実施する総合質問紙調査（i-check）に変更して、指導改善や学級経営・生活指導の指針づくりに役立てている。
- ・日常生活やいじめアンケート等でいじめを発見した場合は、各校設置の「いじめ問題対策チーム」が中心となり迅速な対応に努めるとともに、いじめの未然防止についても各校において積極的な取組によって意識が高まってきている。

【かほく市共通アンケート調査：保護者アンケート】

- ・数値目標としている①「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う（児童生徒）」②「学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってきますか。（保護者）」について、7月と12月に調査を行い、各校のいじめ防止に対する指導に効果的に活用することができた。

① 7月調査 小学生 91.0% 中学生 93.8%      ② 7月調査 小学生 28.5% 中学生 19.5%  
 12月調査 小学生 92.0% 中学生 89.9%      12月調査 小学生 26.3% 中学生 19.7%

【今後の方向性】

- ・「いじめは人間として絶対に許されない」という意識を児童生徒に徹底させるとともに、各学校におけるいじめの解消に向け、いじめの認知と情報共有を今後も続けていきます。
- ・児童生徒自身が「いじめを許さない」と考えられるよう児童会や生徒会活動を通して、リーダーを中心に各児童生徒が活躍できる機会を意図的に設け、児童生徒の自己有用感を高めていくような取組を実施していく。
- ・学生等とタイアップしホームルームなどの時間において身近な話題の共有や話し相手、また、学習支援を実施し、自己存在感や充実感を感じられる「居場所づくり」を提供できるようめざします。
- ・学校だよりや生徒指導だより、ホームページ等を通して保護者にも「いじめの未然防止に対する取組」が伝わるよう積極的な啓発活動に努め、安心・安全な学校経営をめざします（かほく市共通アンケートで実態調査を継続）。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査（7月調査）「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合	小学校	92.9%	93.0%	92.3%	91.4%	91.0%	100.0%
	中学校	87.6%	88.6%	91.0%	91.2%	93.8%	100.0%
かほく市共通アンケート調査（7月調査）「学校における、いじめの未然防止のための取組が伝わってくる」と回答した保護者の割合	小学校	20.8%	24.6%	24.0%	26.6%	28.5%	50.0%
	中学校	18.2%	18.8%	19.0%	19.9%	19.5%	50.0%

### ③ 不登校児童生徒等への自立支援

担 当 課

学校教育課(教育センター)

#### <取組内容・成果>

- ・不登校児童生徒数は、発達障害や家庭環境による不登校、小学生の不登校が大きく増加している。また、学校や教育支援センター「すまいる」のどちらにも来ることができない児童生徒もおり、その対応や支援が求められる。
- ・不登校については、不登校児童生徒及びその保護者へのきめ細かな支援を進めるとともに、未然防止や早期発見・早期対応の取組が必要である。各学校では、令和2年度から中学校に配置した教育相談員（3人）、スクールカウンセラーの活用や関係機関と連携した支援に努めている。
- ・教育センターでは、各学校の生徒指導主事や教育相談担当を対象とした不登校や特別支援教育、教育相談に関する研修会を実施した。
- ・教育支援センター「すまいる」では、通室生への日々の学習・生活支援をはじめ、保護者への働きかけとして、送迎時や電話での連絡を密にし、保護者会（7・11月）や「すまいる見学&懇談会」（1月）を開催した。また、教育相談員や各学校の担当者と連携・協力し、通室生や不登校（傾向）児童生徒へのきめ細かな支援を行った。
- ・令和6年度からの校内教育支援センター（以下、SSRと記載）開設に向け、先進校（小松市・岡崎市）を視察するなどして、各学校へ情報提供をすることができた。

#### ◇かほく市における不登校の児童生徒の推移

(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成25年度	31	31	33	33	—	36	35	36	36	35	37	38
平成26年度	28	33	38	40	—	43	46	47	48	48	50	50
平成27年度	25	27	31	32	—	38	43	45	46	47	46	45
平成28年度	25	31	35	37	—	39	42	45	46	46	48	48
平成29年度	30	33	35	36	—	33	34	34	34	35	35	34
平成30年度	24	30	36	32	—	34	38	45	47	48	55	52
令和元年度	31	35	41	42	—	46	45	48	50	48	50	—
令和2年度	—	—	52	59	60	60	62	67	68	73	67	69
令和3年度	38	39	48	50	—	57	61	58	57	64	70	66
令和4年度	50	58	66	68	—	74	83	94	93	97	103	106
令和5年度	64	68	73	74	—	89	97	106	107	110	114	123

\* 令和2年3月から5月まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため学校臨時休業

#### 【今後の方向性】

- ・教育支援センター「すまいる」と中学校に配置した教育相談員や学校の担当者との連携をより一層強化し、SSRの運営や不登校児童生徒・保護者へのきめ細かな支援を推進します。また、小学校の不登校が増加している現状を踏まえ、教育相談員が小学校へ定期的・継続的に訪問するなど、不登校の未然防止や早期対応、小中連携した支援の充実に努めます。
- ・不登校児童生徒に対しては、面談や電話、家庭訪問などでの声かけや、オンラインによる学習・生活支援など、学校復帰や社会的自立に向けた支援を推進します。また、校長を中心とした組織的・機能的な支援体制を構築し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをはじめ、福祉・医療機関等の関係機関と連携した支援の充実に努めます。
- ・教育センターでは、引き続き、不登校や特別支援教育、教育相談等に関する研修会を実施し、教職員の不登校に対する理解や対応する資質・能力の育成を図ります。
- ・県立看護大生の学習支援ボランティアを中学校や「すまいる」へ派遣要請し、SSRや「すまいる」通室生に対する学習・生活支援を充実します。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
教育支援センター「すまいる」に通う 中学3年生の進路等の確定状況	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

#### ④ 教育相談体制の充実

担当課

学校教育課(教育センター)

##### <取組内容・成果>

- ・教育センターへの教育相談件数は、令和4年度から約70件減少したが、小学生の保護者からの相談が増加している。また、教育相談の内容は、不登校に関する学習や進路、友人関係など学校生活に関わる様々な相談や子供との関わり方など多岐にわたっている。
- ・相談体制の強化を図るため、令和2年度から教育支援センター「すまいる」に2人、各中学校に1人ずつ教育相談員を配置し、様々な相談等について対応している。各学校では、教育相談員やスクールカウンセラーを活用した教育相談やこども総合センターや児童相談所等の関係機関と連携した教育相談など、きめ細かな教育相談を進めている。
- ・教育センターでは、「教育相談のご案内」という広報紙を児童生徒の全家庭に配布し、ホームページにも教育相談の案内を行っている。
- ・月1回(第4木曜日)、教育センターのカウンセラーとして、児童生徒の臨床心理に関して高度な知識を有する臨床心理士による教育相談を実施している。

##### ◇教育センターにおける相談件数

年度	来所相談	訪問相談	電話相談
平成25年度	31	8	57
平成26年度	46	7	23
平成27年度	50	9	17
平成28年度	60	9	19
平成29年度	34	10	6
平成30年度	130	4	19
令和元年度	177	15	18
令和2年度	311(※)	64(※)	748(※)
令和3年度	153(※)	43(※)	282(※)
令和4年度	153(※)	33(※)	319(※)
令和5年度	172(※)	55(※)	205(※)

※令和2年度からは中学校教育相談員への連絡・相談件数も含む。

##### 【今後の方向性】

- ・教育センターでは、来所、訪問、電話による相談を行っているが、教育相談の案内を増やしたり、メールや手紙など、相談方法の多様化を進めたりするなど、気軽に相談しやすい環境を整えます。また、中学校に配置した教育相談員を中心に、校区の小学校を含め、不登校生や保護者との連絡や相談、教育支援センター「すまいる」と学校の連携の強化など、教育相談体制の更なる充実を図ります。
- ・不登校児童生徒が年々増加しており、その原因も多様化している。引き続き、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、医療機関等との連携を強化し、適切な支援や対応に努めます。
- ・教育相談に適切に対応し、きめ細かな支援ができるように、教育相談員や学校の担当者の資質・能力の向上に向けた研修会を計画的に実施します。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
教育センターへの来所相談、 訪問相談、電話相談の件数	210件	1,123 件 (※)	478件 (※)	505件 (※)	432件 (※)	90件

※令和2年度からは中学校教育相談員への連絡・相談件数も含む。

## ⑤ 経済的な理由による子供たちの就学支援

担 当 課

学校教育課

＜取組内容・成果＞

- ・高等学校及び高等専門学校に進学又は在学する生徒で、成績が優秀にして、かつ経済的理由により修学が困難な者に対して、修学上必要な学資金として月額 8,000 円を支給した。

＜奨学資金支給の推移＞

年度	出願者数	奨学金支給者数
平成 25 年度	19	13
平成 26 年度	24	15
平成 27 年度	26	15
平成 28 年度	32	15
平成 29 年度	16	10
平成 30 年度	12	11
令和元年度	13	10
令和 2 年度	17	15
令和 3 年度	15	10
令和 4 年度	19	14
令和 5 年度	13	10

- ・就学援助費について、これまでも家庭の経済格差が教育機会の格差を生まないよう、毎年、社会情勢や国の「要保護児童生徒の就学援助の支給基準」を参考に支給額を決定している。
- ・令和 6 年能登半島地震で被災した児童生徒（市外からの避難者も含む）に、就学援助を行った。

＜要保護・準要保護児童・生徒就学援助費認定件数の推移＞

年度	小学校	中学校	計
平成 25 年度	187	135	322
平成 26 年度	206	139	345
平成 27 年度	167	101	268
平成 28 年度	174	98	272
平成 29 年度	184	111	295
平成 30 年度	176	112	288
令和元年度	173	104	277
令和 2 年度	191	104	295
令和 3 年度	190	108	298
令和 4 年度	182	102	284
令和 5 年度	191	95	286

【今後の方向性】

- ・引き続き、奨学金制度や就学援助費について、保護者への周知を図り、漏れのない支給を行うことにより児童・生徒が安心して学べる教育環境を支援します。

## 基本的方向 1－(6) 安心して学べる教育環境の整備・充実

① 学校施設の長寿命化の推進							
担当課		学校教育課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校の屋内運動場（体育館）の照明のLED化を図った。</li> <li>・河北台中学校の屋内運動場（体育館）の天井材の耐震化を図った。</li> <li>・宇ノ気中学校の空調設備の熱源装置（チラー）の経年による故障リスクを低減するため、オーバーホール（分解・洗浄、修理、部品交換等）を行った。</li> <li>・河北台中学校及び宇ノ気中学校の中央監視（自動制御）装置の経年による故障リスクを低減するため、更新を行った。</li> <li>・大海小学校の地下タンクの老朽化対策（腐食・防食措置）としてライニング工事を実施した。</li> <li>・小学校の遊具について専門業者による点検を実施し、不具合のあった遊具の修繕又は更新を行い、安全で安心できる学校施設の確保に努めた。</li> <li>・能登地震により被害を受けた学校施設について児童生徒等の安全を確保するため、春休み等を利用して復旧工事を実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・給食センター施設の定期的な点検を継続して実施し、施設の状態を把握するとともに、施設の劣化や不具合の早期発見に努め、予防的な対策を実施し、施設の管理水準の維持に努めます。</li> <li>・維持管理手法を「事後保全」から「予防保全」にシフトするとともに、計画的に大規模な改修工事を実施し、学校施設の長寿命化を図ります。</li> </ul>							
数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
「学校施設長寿命化計画（個別計画）」 の策定済学校数		9校	9校	9校	9校	9校	9校

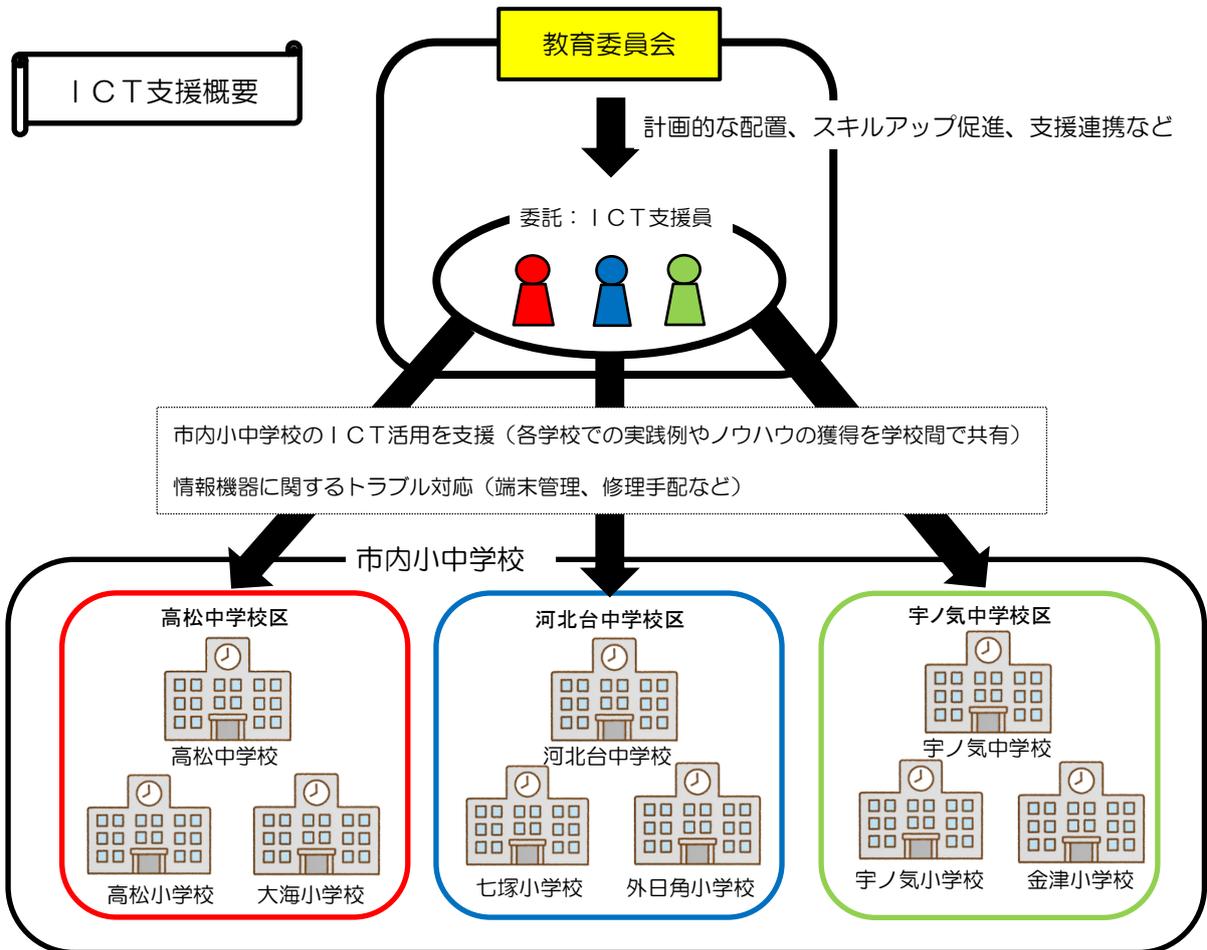
## ② 新たな学びを実現するICT環境等の整備

担当課

学校教育課

<取組内容・成果>

- ・大型モニター（タッチ式、50→65型）を全小中学校に配備し、ICT環境の向上を図った。
- ・国の補助事業を活用し整備した児童生徒1人1台端末を有効に活用するため、引き続きICT支援員を配置した。 ※下図参照
- ・教職員の負担軽減を図るため、統合型校務支援システムを導入し、本格稼働を行っている。（R4～）
- ・学校と保護者間連絡システム「コドモン」を導入し、欠席連絡・お知らせ配信等に活用している。



【今後の方向性】

- ・学校内における教職員の様々な場面でのICT活用におけるサポートや端末に関するトラブル対応など、教職員が授業等をスムーズに行えるようICT支援員を効率よく機能させるとともに、教職員のICT活用力の向上を図ります。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
「普通教室」「特別教室」の無線LAN整備済学校数	小学校	1校	6校	6校	6校	6校	6校
	中学校	0校	3校	3校	3校	3校	3校
3クラスに1クラス分の児童・生徒用コンピュータ整備済学校数	小学校	0校	6校	6校	6校	6校	6校
	中学校	0校	3校	3校	3校	3校	3校

### ③ 通学路の安全対策と安全・防災教育の充実

担 当 課	学校教育課
-------	-------

#### <取組内容・成果>

- ・各小中学校において、地域住民やPTA、見守り隊等の協力により、登下校における児童・生徒の安全確保が図られた。
- ・小中学校において、避難訓練又は防災などに関する出前授業等を実施し、教職員及び児童生徒の防災意識の向上を図ることができた。さらに、県民一斉防災訓練「シェイクアウトいしかわ」による地震の際の初動対応である「しゃがむ」「隠れる」「じっとする」といった安全行動についても取り組み、自分の身は自分で守るという意識を醸成することができた。
- ・通学路の危険箇所について関係機関（道路管理者、警察等）を交え合同点検（令和5年11月13日）を実施し、対応策等の検討を行った。※能登半島地震の影響により幹事会等は中止

#### 【今後の方向性】

- ・引き続き、「かほく市通学路交通安全プログラム」に基づき、毎年実施する学校による安全点検のほか、隔年で実施する関係機関と通学路の合同点検の実施や点検結果による具体的な対策の検討、対策後の効果を検証するとともに、地域の実情に応じた対策の改善をPDCAサイクルとして実践し、通学路の安全向上を図ります。  
また、近年、全国的に住宅地まで出没し、危害を加える鳥獣（クマ、イノシシ等）に対しては、出没情報の収集、伝達を速やかに行うとともに、鳥獣に対しての正しい知識を身につけることで子供たちの被害防止に努めます。
- ・様々な自然災害や交通事故、犯罪等の状況を踏まえ、児童生徒等を取り巻く多様な危険を的確に捉え、児童生徒の発達段階や地域特性に応じた質の高い安全・防災教育の取組を、地域や関係機関とも連携・協働しながら引き続き推進します。
- ・市が実施する防災訓練等に教職員が参加し、関係機関と連携を図るとことにより避難所運営などにおける学校としての役割を確認するとともに、教職員一人一人の防災意識や危機管理意識の向上を図ります。
- ・能登地震等により被災した児童生徒や被災地からの転入生への「心のケア」の観点を取り入れた防災教育や避難訓練に取り組み、被災後の子供たちのメンタルケアをサポートしていきます。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
安全教育・交通安全教室を開催している学校数	小学校	6校	6校	6校	6校	6校	6校
	中学校	3校	3校	3校	3校	3校	3校

## 基本的方向 2 - (1) 家庭の教育力の向上

### ① 親学びへの支援と家庭教育に関する学習の推進

担 当 課

生涯学習課

<取組内容・成果>

- ・ あいさつ励行と交通ルール指導のため、9月21日から29日までの7日間、「かほく市グッドマナーキャンペーン」を展開した。教育振興会、社会教育委員、民生・児童委員、市職員230人がキャンペーンに参加したほか、市内各小中学校においても、教職員、児童生徒、保護者等が取り組んだ。
- ・ 家庭教育の一環として、成長期及び就学における睡眠と食事の大切さについて親子で学んでもらうための「より良い生活習慣を定着させる取組」として、「早寝・早起き・朝ごはん」運動を継続実施しており、令和5年度は、「朝食を毎日食べる」と回答した児童生徒の割合が、目標値には達しなかったが、高い割合となっている。

(「早寝・早起き・朝ごはん」運動実施内容)

- \* かほく市PTA連合会の基本方針の1つに掲げ、PTA活動内でも推進
- \* 幼稚園・こども園児へ「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進するため、「げんきいっぱいカード」を市内幼稚園・こども園へ配布



市内幼稚園・こども園へ配布した「げんきいっぱいカード」

【今後の方向性】

- ・ 生活リズムの大切さや適切な食習慣を身につけるために、幼稚園、こども園、小学校に対して周知活動を行います。継続することでこの習慣が定着するので、引き続き、「早寝・早起き・朝ごはん」の推進を行い、この効果を表すデータ等を示し、家族みんなで取り組むように学校等と連携し推進します。
- ・ 学校と連絡を密にし、十分な情報共有、調整を図り、意味ある取組として継続するように各種運動を実施します。
- ・ 保護者が家庭での教育について考え、話し合い、気づきを得られる機会を増やすため、子育て関連の題材にも積極的に取り組みます。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査(7月調査)で「朝食は毎日食べる」と回答した児童生徒の割合	小学校	88.1%	86.6%	86.0%	86.2%	84.2%	90.0%
	中学校	84.9%	84.3%	87.1%	86.7%	84.5%	90.0%

## ② 親子による体験活動などの促進

担当課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

・親子のコミュニケーションを深め相互理解を図るため、親子で参加し体験する教室として、かほく市民大学講座では「考古学実験教室」「科学教室（1～3年生対象）」「科学教室（4～6年生対象）」「親子クッキング教室」「身近に国際交流」の5講座、地元企業の(株)PFUと連携した「PFUものづくりラボ・キャンプ2023」、七塚生涯学習センター事業の「天体観望会」を開催した。高松公民館事業では「お肉で健康クッキング」を1回、「はじめてさんいらっしゃい！」を2回実施した。親子が共に取り組む体験型の講座とすることで、親子のふれあいや対話、子供自身の学びの機会を提供した。

市民大学講座「親子体験コース」  
PFUものづくりラボ・キャンプ2023  
七塚生涯学習センター事業「天体観望会」  
高松公民館事業  
IT-CATS かほくプログラミング基礎教室

5講座実施（計28組参加）  
1講座：2日間開催（計51組参加）  
1講座：5回開催（計31組参加）  
3回開催（計25組参加）  
26回開催（計73組参加）

「親子体験コース」チラシ

PFUものづくりラボ・キャンプ2023 チラシ

### 【今後の方向性】

・料理教室やプログラミングの講座は参加者数が多く好評であるため、今後も引き続き行政、地域、企業で連携し、子供のニーズに合わせながら楽しく学べる体験活動や講座を実施します。  
・親子間での結びつきや、自らも地域の一員であることの自覚につなげるため、子供だけでなく親も一緒に体験できる講座を増やし、子供の成長を間近で感じられる体験活動を実施します。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
親子体験教室に参加した親子の組数（延べ数）	103組	91組	71組	199組	208組	120組

### ③ インターネット社会に対応する力の向上

担当課

生涯学習課

＜取組内容・成果＞

- ・令和2年2月に市PTA連合会や市小中学校長会との協力により策定した「かほく市ネットルール共同宣言」を少年愛護センター機関紙「ふれ愛」に掲載し、全戸配布した。
- ・家庭における非行・被害防止を目的とした家庭教育力の向上を図るため、各小中学校において、児童・生徒の保護者等を対象とした講座を実施した。家庭におけるインターネット利用が進んでおり、アンケート調査では中学生のSNSやインターネットなどを行っている時間数が1時間未満と回答した率が年々低下している。
- ・青少年健全育成に関する啓発活動を継続実施した。
  - \* 機関紙「ふれ愛」発行（全戸配布）
  - \* 各小中学校において「非行・被害防止講座」を児童・保護者対象に実施

#### ～ 安全にインターネットを利用するためのルール ～

市内3中学校の生徒会が定めたルールを基に、市PTA連合会や市小中学校長会との協力により「かほく市ネットルール共同宣言」を令和2年2月に策定しています。

「かほくっこ」の頭文字を使った5項目は、小中学校の全児童生徒が安全にインターネットを利用するためのルールです。

㊦ 家族で決めよう ネットのルール

㊧ ホントかな? ネットの情報 正しく判断

㊨ 狂わせないで生活リズム

㊩ 使うのは、1日1時間

㊪ 個人情報、人の悪口 載せちゃダメ



機関紙「ふれ愛」より（令和6年3月発行）

#### 【今後の方向性】

- ・近年におけるスマートフォン等を用いた小中学生のインターネット利用率が年々高くなってきている中、小中学校では1人1台のタブレット端末が配備され、今後も利用率が更に増えることが予想されるため、学校と家庭が連携し児童生徒だけではなく、児童生徒と保護者へのスマートフォンやタブレット等の情報機器の利用に関する注意喚起や研修等を実施することにより、家庭における青少年の健全育成を支援します。
- ・青少年による窃盗等の犯罪行為や飲酒、喫煙、深夜徘徊等の不良行為については減少傾向にあるため、少年愛護センターで行っている少年愛護員による巡回活動に代わり、ネットパトロールや愛護員研修を行い現状に即した活動を実施します。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市共通アンケート調査（7月調査）で、「平日、メールやライン等のSNSやインターネット等を行っている時間数が1時間未満」と回答した児童生徒の割合（※）	小学校	53.3%	49.6%	50.4%	44.5%	40.1%	80.0%
	中学校	38.1%	31.5%	29.9%	27.0%	19.1%	80.0%

（※）基本的方向1-(1)③の数値目標と同様

## 基本的方向 2 - (2) 社会教育の活性化による地域教育力の向上

① 地域に活力を与える人材の育成																											
担当課	生涯学習課																										
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の社会教育活動活性化への取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域づくり補助金 公民館活動を対象 15 公民館 交付額 2,771 千円</li> <li>○地域活動補助金 地域活性化を目的とした活動の立ち上げが対象 実績なし</li> </ul> </li> <li>・IT-CATS かほく推進協議会（かほく市DX推進ラボ）の取組               <p>情報技術の発展や産業・社会構造の変化に対応する力を身につけ、未来をリードする人材育成のためプログラミング教育を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎教室 5種類 of 教材を使用した全7コース。4半期ごとに実施。小学生・中学生・高校生が対象。 延べ196人参加。</li> <li>○K-Lab（ケーラボ） プログラミングの基礎等を修了し、より学びたい小学4年生以上を対象にプログラミング、ものづくりを楽しむ場として開設した。同じ教材を活用する企業や高専を見学した。 令和3年6月開設。毎週水曜 17:00~19:00、第1・3土曜 13:30~15:30 令和5年度 63回実施 延べ536人参加</li> </ul> </li> <li>・子ども会の「ぼうさい探検隊マップ」の作成において、地区の見守り隊と連携し地域での取組を学ぶ機会を持った。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育団体の活動を支援し、地域住民同士の交流を促します。</li> <li>・K-Labでは、新しい教材や技術を取り入れ学習を推進し、高専生を講師に招くことで楽しく学習する機会を作ります。また、引き続き企業・高専・大学等の見学を実施することで、産学官の連携を強化し、参加者の興味関心の範囲を広げ、未来をリードする人材育成に努めます。</li> </ul>																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標項目</th> <th>R元年度 (実績値)</th> <th>R2年度 (実績値)</th> <th>R3年度 (実績値)</th> <th>R4年度 (実績値)</th> <th>R5年度 (実績値)</th> <th>R5年度 (目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人材育成につながる講座への参加者数 (延べ数)</td> <td>38人</td> <td>8人</td> <td>15人</td> <td>19人</td> <td>94人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>プログラミング関係教室の参加者数 (延べ数)</td> <td>276人</td> <td>334人</td> <td>540人</td> <td>759人</td> <td>732人</td> <td>300人</td> </tr> </tbody> </table>							数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)	人材育成につながる講座への参加者数 (延べ数)	38人	8人	15人	19人	94人	100人	プログラミング関係教室の参加者数 (延べ数)	276人	334人	540人	759人	732人	300人
数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)																					
人材育成につながる講座への参加者数 (延べ数)	38人	8人	15人	19人	94人	100人																					
プログラミング関係教室の参加者数 (延べ数)	276人	334人	540人	759人	732人	300人																					

## ② 社会教育団体の再興と活性化

担当課	生涯学習課
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域づくり補助金の交付 予算 3,000 千円 交付額 2,771 千円 (15 公民館)</li><li>・各社会教育団体補助金の交付 予算 5,036 千円 交付額 4,866 千円 (8 団体)</li></ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各社会教育団体が互いの活動状況や特色を情報発信することで、より充実した活動となるよう支援し、社会教育活動の再興を進めます。</li><li>・社会教育団体の活動内容を、SNS等で発信し市民へ周知することで、各団体の活動を活性化させます。</li></ul>	

## ③ 連携と協働による社会教育の推進

担当課	生涯学習課
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地区公民館の差異の整理と施設の位置づけとあり方の再検討として、令和2年度に社会教育委員会議へ諮問を行った「公民館を核とした社会教育活動の活性化」について、令和5年度も引き続き委員会で審議し、教育委員会へ答申した。</li></ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・多くの講座に参加し、興味をもってもらうために、出前講座と共に「金沢大学市・町共催公開講座」についても、町会・区や公民館、各社会教育団体に周知します。</li><li>・IT-CATS かほく推進協議会は、児童生徒が新しい技術や知識を学ぶ機会をつくり、興味関心の範囲を広げ、将来に向けて広く深く学習する意欲を持たせるため、引き続き高専・大学・企業と連携し、子供の学ぶ力を推進します。</li><li>・公民館の活動について地域ごとの管理運営体制や、活動の状況を整理し、社会教育委員会議において今後のあり方を検討した内容も踏まえ、活性化に向けて協議を進めます。</li><li>・社会教育団体や他部署の関係団体と子供たちの成長、自立を支援する活動を実施します。</li></ul>	

## 基本的方向 2 - (3) 学校を核とした家庭・地域との連携の強化

### ① 学校を核とした活動の充実

担当課 生涯学習課

<取組内容・成果>

- ・学校運営協議会の開催 各学校 年3～4回
- ・かほく市コミュニティ・スクールプランの実施  
補助金交付 予算4,500千円 交付額4,400千円
- ・高松小学校では、高松地区盛り上げ推進プロジェクト「ワイワイ高松堂」を開店し、地元の商店、会社と商品開発し、開発した商品を創立150周年記念式典で実際に販売することで、仕事の大変さへの気づきと達成感を感じることができ、地元の商店、会社の活性化に一役買うような活動ができた。
- ・金津小学校では、「ワールドコミュニケーション」が行われ、国際交流員や外国語指導助手を招いて他の国の文化や言語について積極的に学んだ。
- ・河北台中学校では、能登半島地震発生により自分たちにはなにができるかを生徒自らで考え、企画し道の駅高松に復興応援の横断幕を設置した。



高松地区盛り上げ推進プロジェクト「ワイワイ高松堂」の様子

#### 【今後の方向性】

- ・学校コーディネーターと地区公民館とが互いの活動内容の情報共有を行い、地域での行事案内や事業報告を校内に掲示することで、地域がどのような活動を行っているのかが知ることができ、児童生徒が地域活動に興味、関心を持つよう促します。
- ・学校に地域の方やゲストティーチャーを招き学習する活動については積極的に実施できているが、学校から地域に赴いて、積極的に地元の方たちと交流し、意見交換することについては、まだまだ不足しているので、児童生徒が自ら積極的に地元と交流することができるきっかけ作りを行います。
- ・児童生徒が地域に出ることで課題を見つけ、地元の方と課題解決に向けて話し合う機会を作ります。
- ・家庭と地域、学校と地域の結び付きを意識した活動を実施し、学校・家庭・地域が子供たちの成長を共に見守る体制づくりを行います。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
コミュニティ・スクールの取組による小中学校への参画人数(登下校の見守り除く)(※)	1,765 人	1,614 人	1,370 人	1,702 人	1,874 人	2,000 人

(※) 基本的方向 1-(4)①、基本的方向 2-(3)②の数値目標と同様

## ② 「支援」から「連携・協働」へとつながる意識の醸成

担 当 課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・高松小学校6年生が総合的な学習の時間に地元を活性化させるために自分たちには何ができるかを考え、自ら取材や商品開発、企画書作成、商品製作、販売に至る全ての工程を行い、働くことの大変さ、地元企業の思いを体験した。最後は協力してもらった方たちを招待し、感謝を伝えることで地元の方たちの意欲向上にも貢献した。

### 【今後の方向性】

- ・地域について学校で学ぶだけではなく、児童生徒が積極的に自らの足で現場に向かい、考え提案する機会をつくり、より実践的な学びにつなげるために、学校コーディネーターや公民館長、単位子ども会とそれぞれの学習内容や成果について情報交換します。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
コミュニティ・スクールの取組による小中学校への参画人数(登下校の見守り除く)(※)	1,765 人	1,614 人	1,370 人	1,702 人	1,874 人	2,000 人

(※) 基本的方向 1-(4)①、基本的方向 2-(3)①の数値目標と同様

## ③ 地域課題解決のための多世代が関わる体制づくり

担 当 課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・生涯学習を推進している各種社会教育団体に対し、活動の活性化に必要な事務支援・補助を行った。
- ・子ども会のぼうさいマップの作成の際に、地域の防災活動や登下校の見守り活動、防犯活動について地域の方々と学習し、多世代で地域の防犯防災活動について考える機会を作った。
- ・IT-CATS かほくの K-Lab で、「塩麴の温度変化の異常を知らせる装置」「野良猫捕獲を知らせる装置」などを試作し改良を進めた。

### 【今後の方向性】

- ・公民館を活用することで、複数の社会教育団体の交流を提案・支援し、同じ地域の住民同士及び多世代交流を促します。
- ・地域で学ぶ場を増やすことで、住民同士の交流の機会を作り地域の活性化のきっかけ作りにつなげます。
- ・子ども会と地区の住民・団体が協力しあい、それぞれの視点から災害が起きたときどうするかを考え、学ぶことで、地域の防災を見直す機会を与えます。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
公民館と地域コミュニティ施設において、多世代の住民が交流する講座、教室等の開催回数	15 回	19 回	33 回	43 回	119 回	55 回

## 基本的方向 3 - (1) 人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進

### ① 「学び」を活かす機会と活動の充実

担当課

生涯学習課

#### <取組内容・成果>

- ・市民の生涯学習活動の成果を発表する機会として開催している生涯学習フェスティバルについては、「いしかわ百万石文化祭 2023」の開催に伴い、「かほくの芸術文化祭」と名称を変更し、規模を拡大し実施した。

期 間： 10月27日（金）・28日（土）・29日（日）

会 場： 河北台中学校、河北台健民体育館

内 容： 小中学校音楽会、表彰式、各種展示会、フリーマーケット、模擬店、体験コーナー



「かほくの芸術文化祭」チラシ

かほくの芸術文化祭の様子（広報 12月号）

- ・市民大学講座では、かほく市の歴史・文化を題材とした一般教養コースとして4回開催し、計187人が参加、参加者の8割以上が60歳以上であり高齢者の参加率が高い結果となった。

#### 【今後の方向性】

- ・生涯学習フェスティバルでは、生涯学習活動の成果を発表する場として、新しく建てられた総合体育館も利用し、作品展示、舞台発表、地域・文化活動の紹介、体験コーナーの充実を図り、より多くの市民が来場したくなる、魅力あるイベントを開催します。
- ・市民大学講座については、好評であったコースは継続しながら、市民のニーズに沿ったコースや講座を実施します。また、幅広い年齢層の方たちに参加いただくために、他課と連携し、誰でも学べる環境づくり・学びを活かす機会づくりを支援します。

## ② 生涯学習に関する情報の発信

担 当 課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・市民による生涯学習活動の成果発表・展示の場として、海と渚の博物館の回廊部分を「市民ギャラリーうみっこ」として活用した。また、七塚生涯学習センターや高松産業文化センターにおいて、各種団体のチラシなどを掲示し情報を発信した。
- ・京都大学・金沢大学や哲学研究者と連携し、貴重な西田幾多郎未公開資料の翻刻業務等を進め、西田哲学の調査・研究を行っている。
- ・市広報やチラシ、ホームページ、いいメールかほく、公式LINE等のSNS、ケーブルテレビ、新聞などの広告媒体を使い、幅広い世代に対して生涯学習に関する情報を発信することにより、市民への告知や周知を行った。

### 【今後の方向性】

- ・単に施設側からの発信だけではなく、来館者のSNSなどによる情報発信による口コミ効果を狙う工夫を進めます。また、地域密着度が高い地域情報誌を活用して情報の周知を図ります。
- ・生涯学習フェスティバルについては、市民の生涯学習活動の成果発表の場としては最大のイベントであり、多くの市民に来場いただき、観てもらうことが更なる生涯学習意欲の増進につながることから、作品展示や芸能発表を行う各協会と連携しながら、イベントへの来場を呼び掛けることで来場者数の増加を図ります。
- ・ホームページ・SNSなどを積極的に活用して広く情報発信をし、コロナ禍で減少した利用者数の増加へとつなげます。研究者等が調査・研究に活用できる専門施設であることと、市民が気軽に集える場所であること、この両方を提供できるよう意識して、魅力ある事業を進めます。
- ・「市民ギャラリーうみっこ」については、以前、市民ギャラリーを利用していただいた団体や市内文化団体に対し、DMによる利用案内を行っており、今後も市民の芸術文化活動の発表の場としての利用促進を更に進めます。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市の人口 に対する生涯学 習フェスティバ ル作品展示会場 来場者の割合	16.1%	中止	13.2%	14.1%	17.2%	18.0%
西田幾多郎記念 哲学館来館者数	28,668 人	18,806 人	18,939 人	19,090 人	22,290 人	35,000 人
「市民ギャラ リーうみっこ」を 利用した展示会 等の開催数	16 回	16 回	10 回	16 回	14 回	40 回

### ③ 市民大学講座による学びの充実

担当課

生涯学習課

<取組内容・成果>

- ・市民の学習の場の一つとして、かほく市民大学講座を展開した。
  - 一般教養コース：「かほく市の歴史」をテーマにした歴史学びコース 全4回
  - 親子体験コース：7講座 全12回
- 個の学びの意欲に応えるとともに、学びを通じた交流の輪の拡大を図ることができた。
- ・連続講座としてシリーズ化を図って講座を展開し、多くの方が複数回受講した。

令和5年度かほく市民大学講座 講座

種類	回数
一般教養コース（歴史学びコース）	4回
親子体験コース（親子で参加する教室）	12回
合計	16回
（参考）図書館・哲学館 講座	29回



かほく市民大学講座「親子体験コース」(PFUの)くらぼ・キャンパス2023  
 7月29日、8月6日の2日間の日程で、市内小学校4、5、6年生の親子29組が参加し、「Ic h o J a m とセンサー」に反応し動くもの」の製作に挑戦しました。参加者は、製作した作品をコンテストに応募することを目標に、いろいろなセンサーの働きや著作権などについても学び、夏休み期間を活用して作品づくりに取り組み、個性豊かな作品を完成させていました。



修了証を手にして笑顔で記念撮影

「市民大学講座歴史学びコース」チラシ

市民大学講座親子体験コースの様子（広報9月号）

#### 【今後の方向性】

- ・受講者アンケートにおいて、満足度は高く目標値を達成しているが、今後も引き続き参加者のニーズを把握し、より満足度を上げられる講座内容を検討するとともに、時代に合った講座を実践します。
- ・テーマを設定した連続講座については参加者の評価が高く、テーマによっては全講座を受講する参加者も一定数いるため、前回受講者宛にダイレクトメールや、ターゲット層を広げるためにSNSを積極的に活用し、より多くの方に学習機会の提供と学習意欲の向上を図ります。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市民大学講座の受講者へのアンケートで「満足」または「やや満足」と回答した割合	92%	91%	91%	86%	83%	80.0%
市民大学講座の各講座における最低参加者数	5人	20人	5人	2人	2人	20人
出前講座の開催講座数	47講座	17講座	19講座	25講座	36講座	50講座

## 基本的方向 3 - (2) 読書環境の充実と生涯学習拠点としての機能強化

### ① 生涯学習拠点施設としての機能の強化

担当課

生涯学習課

#### <取組内容・成果>

- ・障害者差別解消法や読書バリアフリー法を受け、ICTを活用したデジタルサービスの提供を展開していくとともに、文字拡大や音声読み上げ対応など、電子書籍の利点を活かしたコンテンツを充実させ、多様な読書環境の整備を図った。(電子図書館 貸出人数 972人)
- ・ケーブルテレビ、広報紙、ホームページ・いいメールかほくの他、公式LINEやInstagramを通じて、図書館の資料・事業・サービスについて情報発信(新刊情報案内、図書館事業案内など)を行った。
- ・地域の昔話の朗読講演会を開催した。(参加人数 100人)
- ・CD付英語絵本を市内全小中学校に貸出した。学校での展示・読み聞かせ・放送により英語や外国の文化に触れる機会を提供した。
- ・「図書館友の会」やボランティア人材との連携を図り、図書館運営協力者会議での意見を踏まえながら、市民の声を取り入れ、市民に親しまれる図書館づくりに努めた。  
 ※おはなしボランティア「やまんば」によるお話会 (年間54回、参加人数 805人)  
 ※宮沢賢治を読む会 (年間9回、参加人数 55人)
- ・地域が一体となり読書活動推進に向けて取り組めるよう、学校・行政・ボランティア団体等の総合的な情報交換の場として読書活動推進交流会を開催した。(年間1回、参加人数 47人)

#### 【今後の方向性】

- ・紙媒体と電子媒体のそれぞれの書籍の長所を上手く活かしながら、利用者が最適な読書環境を選択し、活用できるように読書支援を行います。
- ・高齢者や身体に障害のある方にも配慮し、電子書籍の利点を活かしたコンテンツを引き続き充実させ、非来館サービスの提供を積極的に情報発信していきます。
- ・ホームページ、SNS、デジタルサイネージ、新聞等を積極的に活用し、生涯学習拠点施設としての図書館を広く市民にPRすることで、ハードユーザーでない人の図書館活用を促します。
- ・市内の読書ボランティア団体と地域で読書推進に携わる関係者との総合的な情報交換の場を引き続き設け、地域が一体となり読書活動推進に向けて取り組めるよう、更なる連携強化を図ります。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市立中央図書館 来館者数	134,352 人	92,202 人	102,919 人	105,944 人	106,636 人	140,000 人
年間貸出人数 (市立中央図書館分)	43,317 人	33,007 人	39,095 人	37,891 人	38,148 人	46,000 人

## ② 子供の読書活動の推進

担 当 課

生涯学習課

<取組内容・成果>

【読書を通じた子供の健やかな成長のための取組】

- ・ ことども家庭課と連携し、4か月健診とあわせてブックスタート事業（読み聞かせ、絵本プレゼント、読書案内、図書館案内）を行った。（年間24回開催、参加人数302人）
- ・ ことども家庭課と連携し、3歳児健診に訪れた親子にセカンドブック事業（図書館への来館を促し、選んでもらった絵本をプレゼント）を行った。（231人）
- ・ 子育て支援センターに出向き、未就園児と保護者等を対象にお話会を開催した（年間32回、参加人数281人）。
- ・ 小学校に出向き、お話会を開催した（外日角小 1回、参加人数51人）。
- ・ 学童に出向き、お話会を開催した。（高松学童・七塚学童・宇ノ気南部学童・金津学童、年間4回、参加人数202人）
- ・ 小学校や学童に出向き、電子図書館講座を開催した。（外日角小・金津学童、年間2回、参加人数27人）
- ・ 英語のおはなし会を開催した。（年間47回 参加人数421人）
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策をしながら、市内幼稚園の年長児を招待するおはなし会を開催した。（年間1回、参加人数37人）

【子供の関心と読書を結びつける取組】

- ・ 読書につながる料理や工作など取り入れ、子供が読書に関心を持つような取組を開催した。
  - \* 手づくり絵本教室 （全4回、参加人数30人）
  - \* 調べる学習教室 （全2回、参加人数30人）
  - \* 茶会とおはなし会 （参加人数67人）
  - \* 夜の図書館探検 （参加人数30人）

【読書活動の励みになる取組】

- ・ 調べる学習コンクール（応募数779点）、手づくり絵本コンクール（応募数59点）の作品展示、表彰式を行った。
- ・ 調べる学習コンクールの優秀作品を全国コンクールに推薦し、3点が優良賞に、3点が奨励賞に選ばれた。
- ・ 読書日記展を開催し、子供たちの読書活動の様子を紹介した。（市内6小学校から3人ずつ18人、市内3中学校から6人ずつ18人）

【今後の方向性】

- ・ 子供の読書活動を推進するためには、家庭、地域、学校等がそれぞれの役割を十分に理解し、社会全体で取り組んでいくことが必要です。このため、ボランティアの育成や団体の活動を支援するとともに、関係機関等の連携をより深め、相互の円滑な協力体制を整備し、市民協働による読書活動を推進します。
- ・ 子供時代の読書活動が大人になった時の支えになるため、読書習慣の形成に向けて、乳幼児期・小学生期・中学生期のそれぞれの発達段階に応じた効果的な取組を推進します。
- ・ 学校図書館と公共図書館が連携しながら、友人同士で本を薦め合う読書会やブックトークなど、読書への関心を高める取組を充実させます。
- ・ 調べる学習の精度がこれまでの積み重ねにより年々向上しています。引き続き学校と連携し、児童・生徒が受け身ではなく、自ら能動的に学びに向かうような主体的な学習の取組の支援を行います。
- ・ 学校でも昼休み・朝読書・授業の時間にALTやアシスタントティーチャー、ボランティアが英語絵本の読み聞かせを行う機会が増えています。団体貸出の機会提供、活用法の情報提供を引き続き行います。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
調べる学習コンクール及び手づくり絵本コンクールの応募件数	717件	18件	704件	988件	838件	800件

### ③ 市立図書館と学校図書館との連携

担 当 課

生涯学習課

＜取組内容・成果＞

- ・学校読書活動推進部会、学校司書部会で情報交換や研修を行い、連携を深めた。(年間 12 回)
- ・市立図書館から学校図書館へ貸出資料・返却資料の物流を行った。(年間 49 回)
- ・学校司書からの情報提供により、授業での並行読書や調べ学習に役立つ資料を充実させた。
- ・市立図書館・学校図書館担当者等の研修会で学校図書館の現状や先進事例を知り連携を深めた。

【今後の方向性】

- ・校長を学校図書館の館長として位置づけし、校長のリーダーシップの下、司書教諭又は図書館担当教諭と連携しながら、チーム学校として、市立図書館とも連携しながら、小学校では様々な分野の図書に触れる活動を行い、中学校では読書の質を高める取組を進めます。
- ・市立図書館司書と学校司書が連携し情報交換や情報共有を行いながら、授業に役立つ資料や読書意欲・読書効果の向上につながる資料の充実を図るとともに、市内学校で一体的な読書活動推進の取組を進めます。

数値目標項目		R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
全国学力・学習状況調査で「学校の授業時間以外に1日当たり30分以上読書をする」と回答した児童生徒の割合(※)	小学校	49.0%	—	35.7%	39.4%	30.6%	50.0%
	中学校	22.5%	—	23.4%	26.5%	19.1%	35.0%

※令和2年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止

(※) 基本的方向 1-(2)③の数値目標と同様

## 基本的方向3－(3) 博物館活動の充実と情報発信

① 石川県西田幾多郎記念哲学館の充実	
担当課	生涯学習課
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いしかわ百万石文化祭 2023 かほく市地域文化発信事業の会場として事業を実施。(生涯学習課主管)            哲学シンポジウム「スポーツを哲学する―地域を盛り上げるヒントを探る―」            基調講演：為末大（元陸上選手）「熟達論―なぜスポーツをするのか」            てい談：為末大、西村貴之（金沢星稜大学教授）、大熊玄（副館長/立教大学教授）            令和5年10月29日 249人参加</li> <li>・本の展示会 哲学する本棚「スポーツ」令和5年10月14日～11月19日 期間中入館者3,291人            短歌大会「短歌大会～ようこそ、かほくの哲学の道へ～」令和5年11月19日 291人参加            記念講演：永田和宏（歌人、細胞生物学者）「西田幾多郎と河上肇 二人の学者歌人」            ナイトミュージアム ASUNA 100Keyboards 令和5年11月25日 180人参加            現代音楽家によるパフォーマンス、トーク聞き手：高谷掌子（哲学館研究員）</li> <li>・常設展示に加え、企画展を開催した。            テーマ：「『善の研究』ができるまで」令和5年3月28日～9月24日 期間中観覧者3,767人            関連イベント：①講演会「『善の研究』成立と悲哀の体験」5月27日            講師：浅見洋（西田幾多郎記念哲学館館長） 64人参加            ②講演会「四高は『善の研究』のふるさと 金沢大学の蔵書から見た西田幾多郎」            講師：橋洋平（金沢大学附属図書館課長）8月5日 15人参加</li> <li>・テーマ：「西田幾多郎と短歌」令和5年10月3日～令和6年3月24日 期間中観覧者3,432人            関連イベント：展示解説 10月15日、令和6年3月3日 参加者：28人</li> <li>・「西田幾多郎哲学講座」（10回、延べ532人参加）、西田幾多郎の講義や講演を収録した『西田幾多郎講演集』を読み進める「寸心読書会」（10回、延べ293人参加）を開催した。</li> <li>・「寸心忌記念講演会」演題：「哲学の動機は深い人生の悲哀でなければならない」令和5年6月10日            講師：氣多雅子（京都大学名誉教授） 116人参加</li> <li>・「夏期哲学講座」は今年も「合宿形式」にはせず、期間も1泊2日の短縮版で行った。40人参加</li> <li>・禅文化を気軽に体験する「坐禅文化体験会（座禅会）」を開催した。27人参加</li> <li>・市内小中学校と連携し、哲学対話やふるさと教育等を実施した。            「ふるさと教育～西田幾多郎に学ぶ～」対象：市内全小学5年生、中学2年生            小学5年生：①道徳の授業で生涯を学び ②哲学館職員による出前講座「哲学対話」の実施            中学2年生：①哲学館展示室見学と講話を聞く            その他、大海小の哲学対話（全学年×1・3学期）、外日角小見学（5年生）、高松中哲学対話（2年生）を実施。宇ノ気小学校では展示コーナー設置協力、哲学クラブ発足に協力。</li> <li>・気軽に哲学に触れる機会の創出として、考えるきっかけとなる本を展示する「哲学する本棚」を実施。            今回のテーマは「こどもとてつがく」。令和6年1月13日～3月10日 期間中入館者2,279人            関連イベント：哲学カフェ（3回 ※うち1回は「あそびの森かほくくる」で開催）</li> <li>・市民が親しみやすい催し物として「幾多郎ファミリーワークショップ」を開催した。            「和綴じ本」をつくろう 講師：平田正和（工房レストア）11月3日（2回実施）延べ33人参加</li> <li>・新たに他機関と連携した事業を行った。            ふらふら哲学カフェ 石川県立看護大学哲学・倫理学研究室主催、哲学館共催            不定期で年間7回実施、延べ66人参加            金沢大学資料館主催 Innovate MUSEUM 事業に連携協力            シンポジウム事例発表12月17日（85人参加+オンライン88人）            資料アーカイブのプラットフォーム「石川デジタルミュージアムネットワーク」に参加            3D研修に参加</li> <li>・京都大学・金沢大学や哲学研究者と連携し西田未公開資料の翻刻業務を行った。（ノート18冊）</li> <li>・各種研修の受入と出前講座を行った。            研修受入 延べ8回 125人（金沢美大、金沢星稜大学、市教育センター、福沢諭吉協会 等）            出前講座 延べ7回 246人（金沢中央高校、いしかわ長寿大学、七尾高校 等）</li> <li>・新たな客層誘致のため哲学館公式インスタグラムを開設。フォロワーキャンペーンを行い当館に来館する機会の創出を図る。</li> <li>・哲学館の主な修繕及び工事            階段庭園LEDライン照明器具更新            哲学館ホールステージバック壁補修            哲学館2階底シーリング補修</li> </ul>	

【今後の方向性】

- ・世界的にも珍しい「哲学の博物館」として、機能の充実と環境整備を図ります。国際的な視野に立った事業展開や学術利用が可能になるよう、哲学ホールの通信機器充実を行います。
- ・Wi-Fi環境を整備し、展示室ではスマホアプリを利用した多言語音声ガイドを導入します。展示資料への関心を高めるとともに、インバウンド客対応を強化していきます。
- ・哲学館の魅力発信を強化するため、SNSやメディアを活用しながら工夫した広報活動を行い、来館者の増加へつなげます。
- ・性別や国籍、障害の有無にかかわらず、学べる環境整備に努めます。障害のある方も参加しやすくなるような事業を企画します。
- ・他機関や学校と連携した事業を積極的に実施していきます。近年要望の多い館外での資料調査や展示、出前講座等、求められる要望に対応していきます。
- ・引き続き、上田家寄贈資料を中心とした貴重な収蔵資料の整理を進め、刊行物やデジタルアーカイブで公開していきます。収蔵品データベースの充実を図り、学術利用の促進を行います。
- ・開館から20年が過ぎ、建物や設備も経年劣化による不具合の発生がみられます。日常点検の実施による不具合の早期対応により来館者が安全で安心して過ごせる環境づくりを行います。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
西田幾多郎記念哲学館 展示室観覧者数	9,144 人	6,472 人	6,243 人	7,515 人	7,170 人	9,500 人
西田幾多郎哲学講座の 受講者アンケートにお いて、「とても良い」ま たは「良い」と回答し た割合	87.6%	86.1%	90.1%	87.2%	86.2%	80.0%

## ② うみっこらんど七塚の充実と「海と渚の博物館」機能の強化

担 当 課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・「海と渚の博物館」での民俗資料の公開と市民の芸術文化活動の発表の場として「市民ギャラリーうみっこ」での作品展示会の開催、キャンプ場及びバーベキュー場の運営により人々の交流活動を促進した。
- ・博物館展示室観覧者数 4,022人（うちギャラリー入場者数 2,489人）
- ・「市民ギャラリーうみっこ」での展示会の開催 14回  
（主な展示会）
  - ・白峰会書道展
  - ・P F U社友会作品展・社会貢献活動紹介
  - ・かほく市絵画協会作品展
  - ・手づくりおしゃれ工房教室展
  - ・布ぞうり&花のおりがみ展
  - ・七塚絵手紙教室作品展
  - ・絵画と押し花 父母作品展
  - ・新田茂外子白寿記念作品展
  - ・鶴彬パネル展
  - ・第19回私の作品展
  - ・原爆戦争写真展
  - ・西本正義油彩画展
  - ・かほく市書道協会展
  - ・かほく市生け花協会作品展
- ・キャンプ場等利用者数 4,749人（うちバーベキュー場利用者数 2,791人）
- ・体験活動の実施 貝がらアート体験 19人
- ・昔の暮らしの開催 高松小学校 60人、外日角小学校 77人、金津小学校 9人  
※小学3年生対象

### 【今後の方向性】

- ・SNS、ホームページ、ケーブルテレビなどを活用し、施設最新情報の発信を行い来館者の興味や関心を促し増加につなげます。また、かほくふるさと展示室が、ふるさと学習の拠点となるよう、学校などと連携を図り、有効に活用します。
- ・建物及び設備の経年劣化等が進行しているため、計画的な設備・機器等の更新・修繕等を適宜行います。
- ・うみっこらんど七塚のイベント広場を活用したアウトドアイベントなどを開催し、情報を発信することで、うみっこらんど七塚の魅力向上につなげます。
- ・キャンプ場利用者の利便性の向上を図るため、予約手続きのデジタルツールの活用や、利用料等のキャッシュレス化を図ります。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
「市民ギャラリーうみっこ」の観覧を含む「海と渚の博物館」の来館者数	6,368 人	2,218 人	2,365 人	3,329 人	4,022 人	15,000 人

## 基本的方向 3－(4) 生涯学習活動を支える環境の整備・充実

① 生涯学習センターの運営管理	
担当課	生涯学習課
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの生涯学習センター（七塚・宇ノ気）施設の適切な運営や維持管理に努め、設備更新や修繕を進め、安心して安全に利用できる生涯学習の場を提供した。</li> </ul>	
<p>&lt;宇ノ気生涯学習センター&gt;</p> <p>運営状況</p> <p>開館時間：火曜日～土曜日 午前9時から午後10時まで 日曜日・月曜日 午前9時から午後10時まで</p> <p>休館日：祝日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）</p> <p>利用者数：令和5年度合計人数 23,234人（教育センター除く）</p>	
<p>主な修繕等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化改修工事</li> <li>屋上防水・屋根改修</li> <li>外装内部改修</li> <li>空調設備改修</li> <li>給排水衛生設備改修</li> <li>受変電設備取替</li> <li>照明器具取替 等</li> </ul>	
<p>&lt;七塚生涯学習センター&gt;</p> <p>運営状況</p> <p>開館時間：火曜日から土曜日まで 午前9時から午後10時まで 日曜日 午前9時から午後5時まで</p> <p>休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、年末年始</p> <p>利用者数：令和5年度合計人数 12,229人</p>	
<p>主な修繕等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁補修工事</li> <li>・空調機補修工事</li> <li>・陶芸機器更新工事</li> <li>・フェンス支柱等補修工事</li> <li>・自動ドアセンサー修繕 等</li> </ul>	
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化による修繕項目が増えてきており、その中には緊急性の高いものもあることから、引き続き、施設と設備の適切な運営と管理及び良好な施設環境の保持に努め、市民の生涯学習の場、成果発表の場としての活用を促進します。</li> <li>・七塚生涯学習センターについては、令和3年度に策定した長寿命化計画を基に計画的な大規模改修を行います。</li> </ul>	

## ② 地域交流施設などの有効活用

担 当 課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・地域交流施設については、市民大学講座などの生涯学習事業による活用のほか、保育ママ向け講演会の開催や文化協会の活動発表の場として利用された。  
 (各施設実施内容)
  - \*七塚生涯学習センター・・・市民大学講座、女性会・子ども会などの各種団体における学習会など
  - \*宇ノ気生涯学習センター・・・保育ママ向け講演会、英語アシスタント連絡会、文化協会の団体活動など
  - \*河北台中学校講堂・・・かほくの芸術文化祭（生涯学習フェスティバル）、立志式など
- ・地域活動の拠点施設である地区公民館について、快適な学習環境が継続できるよう施設の修繕を行った。  
 (地区公民館 主な修繕内容)
  - \*二ツ屋公民館・・・サッシ戸取替、照明器具取替
  - \*木津公民館・・・垣根改修、空調設備取替等
  - \*白尾公民館・・・屋上防水改修
  - \*その他、消防設備など適宜修繕を行った。
- ・令和2年度に市社会教育委員会議に諮問した「公民館を核とした社会教育活動の活性化」について、令和5年度も引き続き審議し、教育委員会に答申した。

### 【今後の方向性】

- ・経年劣化による公民館の修繕等については、地元の要望をもとに協議を行い、震災復旧を最優先のうえ、必要性の高いものから優先順位をつけて修繕等を実施します。また、長寿命化に向けた大規模改修などについて、地元と協議し、計画的に行います。
- ・市社会教育委員会議に諮問した「公民館を核とした社会教育活動の活性化」については、答申した内容を踏まえ、活性化に向けて協議します。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
地区公民館等のコミュニティ施設のあり方に関する整理と新たな支援	準備	諮問	審議	審議	実施	実施

## 基本的方向 4 - (1) ふるさと学習の充実

### ① ふるさと「かほく市」を学び知る機会の提供

担 当 課

スポーツ文化課・生涯学習課

<取組内容・成果>

〔かほく市民大学校〕

・かほく市民大学校において、生涯学習課と連携し、県内の関係機関から講師を招き、「かほく市の歴史」をテーマとした講座を令和3年度から開催し、郷土の歴史や風土、文化財を知る機会を提供できた。

\* 「古代体験ワールド in イオンモールかほく」 受講者（体験者）約 600 人

\* 「考古学実験教室 - 弥生土器で本当にお米を炊いてみよう！ - 」 受講者 16 人

・また、市史編さん事業を契機とした市史編集専門委員による講座を実施した。

\* 『銀嶺のかなた』と桜井三郎左衛門 講師：瀬戸 薫氏 受講者 29 人

\* 「高松 光専寺調査から「新出 光専寺文書」 講師：石田 文一氏 受講者 24 人

\* 「かほく市の中の能登国」 講師：瀬戸 薫氏 受講者 26 人

\* 「白尾 龍賢寺調査から「転び切支丹がいた」 講師：石田 文一氏 受講者 24 人

〔ミニ企画展、企画展〕

・うみっこらんど七塚の海と渚の博物館内にある「かほくふるさと展示室」の展示コーナーにおいて、遺跡から出土した遺物や市指定文化財を展示したミニ企画展をホームページ等で告知し開催した。

\* 「鉢伏茶臼山遺跡」編 (令和5年4月22日～8月2日)

\* 「元女らんとう堂山石塚群」編 (令和5年8月3日～令和6年3月21日)

・令和6年1月11日から1月31日までの期間において、石川中央都市圏歴史遺産活用連絡会による考古資料巡回展（古代編）を予定していたが、令和6年1月の能登半島地震により中止した。

〔イオンモールかほく連携事業〕

・イオンかほくSCにおいて、市の歴史の紹介と体験を通じて歴史を学ぶ下記のイベントを実施した。

\* かほく市民大学校「古代体験ワールド in イオンモールかほく」

期日：令和5年4月30日（日） 体験者：一般市民等 約 600 人

〔スポーツコミッション事業連携〕

・スポーツコミッション事業のテストケースとして、下記のイベントに協力・実施した。

\* アウトドアキャンプ体験イベント in うみっこらんど七塚 (火起こし体験)

期日：令和5年5月27日 体験者：一般市民等 約 500 人

火起こし体験とともに、同施設内のかほくふるさと展示室の紹介と市の歴史を学ぶ

【今後の方向性】

・市民が郷土の歴史や文化財に気軽に親しむ機会の充実を図るため、イオンかほくSCなどの商業施設等との連携を強化し、様々な場所で市民がフィールドワークや実物に触れ親しむ体験型学習等の機会の充実を図ります。

・かほくふるさと展示室は、市の歴史や文化を学び知るうえで、貴重な情報発信の場となっています。ここを基盤に企画展や講座などを開催するほか、見学者アンケートの結果をふまえ、市内小中学校との調整を行うほか、これまで以上に事業の周知に努め、よりふるさとを学ぶ機会を提供します。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
ふるさと学習関連事業の開催数 (市教育委員会が事業主体のもの)	6回	7回	8回	5回	7回	5回

## ② かほく市ゆかりの人物に関する情報の発信

担 当 課

スポーツ文化課・生涯学習課

<取組内容・成果>

[鶴彬の紹介・発信]

- ・高松産業文化センター2階（展示ケース）において、鶴彬に関する展示を継続した。
- ・かほく市川柳協会と鶴彬を顕彰する会の主催による「第28回鶴彬川柳大賞」が開催され、全国へ情報が発信された。  
\* 第28回鶴彬川柳大賞 投句者数：385人

[東善作の紹介・発信]

- ・かほく市高松運動公園 高松野球場グラウンドにて、「東京号」で世界三大陸単独横断飛行した東善作を顕彰し、二宮康明氏設計による「東京号」で紙ひこうき大会を実施した。  
\* 第26回石川県紙ひこうき大会 in かほく  
石川工業高等専門学校ロボット研究部 紙ひこうき300機連続打ち上げ  
令和5年5月28日 参加者112人

【今後の方向性】

- ・引き続き、地元ゆかりの偉人に関する更なる情報を発信するため「かほくふるさと展示室」での常設展示を行います。
- ・西田幾多郎を始めとしたかほくの偉人を顕彰し、郷土の誇りやふるさと愛を育むため、市民大学講座や出前授業などのふるさと学習関連事業を充実します。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市民大学校の受講者等へのアンケートで各人物ごとに「知っている」と回答した割合	—	66.2%	74.3%	71.2%	73.6%	50.0%

## 基本的方向 4 - (2) 芸術文化活動の促進と支援

### ① 芸術や文化活動に触れる機会の提供

担 当 課

スポーツ文化課・生涯学習課

<取組内容・成果>

〔各種コンサートの実施〕

石川県立音楽堂や石川県と協力し、以下のコンサートを開催した。

- ・いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 2023  
期日：令和5年4月16日（日） 会場：河北台中学校講堂 参加者：一般市民 約300人
- ・オーケストラ・アンサンブル金沢 設立35周年記念 県内縦断コンサート  
期日：令和5年6月4日（日） 会場：哲学館ホール 参加者：一般市民 約170人  
かほく市コーラス協会も協力（コーラスによる共演）

〔哲学館ホール活用・ライトアップ連携事業〕

- ・哲学館ホールにてXmasクラシックコンサート2023を開催した。  
\* 期日 令和5年12月21日（水）  
\* 参加者 一般市民 135人  
\* 演奏内容 チェロ奏者の大澤 明氏とその仲間たちによる演奏

〔いしかわ百万石文化祭2023 かほく市地域文化発信事業の開催に併せ実施〕

- ・テーマを「西田幾多郎と短歌」とした企画展を常設展示に加え開催した。  
\* 展示期間 令和5年10月3日（火）～令和6年3月24日（金）  
\* 観覧者 3,432人  
関連イベント：展示解説 10月15日、令和6年3月3日に実施（28人参加）

〔海と渚の博物館活用事業〕

- ・「市民ギャラリーうみっこ」を活用して各種団体による展示会を開催  
\* 開催回数 計14回  
\* 主な内容 書道展、絵画展、油彩画展、生花展、押花アート展 ほか

〔イオンモールかほく連携事業〕

- ・イオンかほくSCにおいて文化協会によるイベントを実施  
演奏会 吹奏楽協会 令和5年4月16日（日）  
作品展 写真協会 （1～2か月ほどで定期的に実施）  
演奏会 宇ノ気中学校吹奏楽部 令和5年9月2日（土）  
歌謡舞踊ショー ニツ屋豊年太鼓 令和6年1月1日（月）

【今後の方向性】

- ・芸能公演やコンサートを開催し、優れた芸術文化に触れる機会を提供します。
- ・公共施設での本格的な芸術発表に限らず、大型商業施設などを活用し、身近で親しみやすい場所で、気軽に芸術文化に触れる機会を提供します。
- ・障害の有無に関わらず、誰もが芸術文化活動に親しむ機会を提供するため、障害者施設をはじめとした社会福祉関係団体へ、生涯学習フェスティバルや公共施設などの活用を促します。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
コンサートや展示会など芸術発表の開催数 (市教育委員会が事業主体のもの)	5回	4回	3回	6回	7回	6回

## ② 文化活動団体・個人への支援

担 当 課

スポーツ文化課

<取組内容・成果>

### 【市内文化活動団体の紹介】

- ・文化活動団体の紹介チラシを作成し、全戸配布するとともに、生涯学習センターなどの公共施設にチラシを配置して情報を発信した。

### 【文化活動の紹介、情報発信】

- ・市広報にて、文化活動の紹介や活動の事前告知を行った。  
「まちの話題」ほか（掲載5回）  
市ケーブルテレビでの紹介  
特集記事として、かほくの芸術文化祭（第20回かほく市生涯学習フェスティバル）の掲載

### 【文化活動支援補助事業】

- ・いしかわ県民文化振興基金「文化活動支援事業」による事業1件に対して対象期間中の補助金を決定交付した。  
\*平成31年～令和5年 かほく市民謡の祭典事業  
（3年間の事業、令和2・3年はコロナで中止）  
民謡の祭典（令和5年10月22日 プロの出演と市民謡協会員による民謡発表）

### 【今後の方向性】

- ・公共施設等の利用調整や活動案内、イベント情報を幅広く広報し、多くの人に芸術文化活動の情報が行きわたる環境を提供します。
- ・児童を対象とした「子ども文化教室」については、市内指導者や文化団体との連携を密にしながら、次世代の担い手を育みます。
- ・次世代の担い手を支援するため、予選又は選考を経て全国規模の大会に出場する団体・個人へ激励費を支給します。
- ・途切れつつある伝承芸能や祭礼といった地域特有の文化などの実情を把握し、市史編さん事業の調査において詳細な実態の把握に努めます。
- ・まちづくりや文化を支える郷土芸能や地域の祭礼を次世代へ継承するため、必要な場の提供や活動記録の保存に努めていきます。
- ・中学校部活動地域移行を見据え、文化活動にも関心を持ってもらえるよう紹介チラシ等で周知を図ります。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
文化協会加盟会員数	1,240 人	1,191 人	1,105 人	1,035 人	1,007 人	1,320 人

## 基本的方向 4 - (3) 未来に伝える文化財の保護と活用

### ① 文化財を活用した学習の充実

担 当 課

スポーツ文化課

<取組内容・成果>

〔ふるさと歴史体験教室〕

- ・縄文時代や弥生時代の学習に合わせて、市内小学校6年生を対象とした歴史体験教室（出前講座）を実施し、国指定史跡「上山田貝塚」や石川県指定史跡「大海西山遺跡」の学びにつなげた。弥生土器づくり・土器焼きを小学校5校で実施したほか、石川県埋蔵文化財センターと連携し、管玉・勾玉作り、縄文土器や弥生土器、石器の実物見学と説明を行った。

【令和5年度実績】

- ・土器づくり・土器焼き 大海小 16人、高松小 75人、七塚小 43人、金津小 14人、外日角小 70人
- ・出前講座 大海小 16人、高松小 75人、七塚小 43人、金津小 14人、宇ノ気小 113人、外日角小 70人
- ・小学校の遠足に合わせた大海西山弥生の里の解説 … 宇ノ気小学校6年生（113人）  
長柄用水現地見学 … 大海小学校4年生（11人）、高松小学校4年生（75人）  
市内遺跡解説、管玉づくり体験教室（PTA連携）… 外日角小学校6年生（12人）
- ・かほく市民大学校として下記の講座を開催した。
  - \* 「古代体験ワールド in イオンモールかほく」 受講者（体験者）約 600人
  - \* 「考古学実験教室 - 弥生土器で本当にお米を炊いてみよう！ - 」 受講者 16人
- ・スポーツコミッション事業のテストケースとして協力、下記の体験を実施した。
  - \* アウトドアキャンプ体験イベント in うみっこらんど七塚（火起こし体験）  
期日：令和5年5月27日 体験者：一般市民等 約 500人  
火起こし体験とともに、同施設内のかほくふるさと展示室の紹介と市の歴史を学ぶ

【今後の方向性】

- ・学校での意見や要望を踏まえながら、石川県埋蔵文化財センター普及部と連携し子供の興味関心を促す出前授業や文化財を活用したふるさと教育の充実を図ります。
- ・多様化するニーズに柔軟に対応し、幅広い世代に対しかほく市の歴史を周知する活動を進めていきます。また、本市の歴史、文化等が色濃く残る能登街道高松宿の歴史的町並みや、西田幾多郎書斎・骨清窟、長柄用水など建造物や文化的景観についても、市史編さん事業と連携し広報していきます。
- ・DX化への対応と市史編さん事業に伴う大量の資料を公開・活用するため、まず市内文化財のデジタルアーカイブ化（市内文化財のDB化）と公開を図ります。そして、この市内文化財のデジタルアーカイブを基盤とし、学校や一般向けの分かりやすいデジタルコンテンツの作成を目指します。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (目標値)
文化財関連座学及び体験講座の開催数	10回	11回	16回	22回	18回	9回



### ③ 文化財の適切な保護と管理

担 当 課

スポーツ文化課

#### <取組内容・成果>

[市内開発行為に係る埋蔵文化財の有無確認のための試掘調査]

- ・市内の試掘調査を実施 4回（全て埋蔵文化財 無し）
- ・県文化財課と共に県営ほ場整備に係る分布調査（試掘） 2回（全て埋蔵文化財 無し）

[かほく市史の編さん]

- ・図説編・資料編の編さんに向け、各委員会や各種調査などを下記のとおり実施した。  
（各委員会、各部会など）  
かほく市史編さん委員会の実施（1回 10月）  
かほく市史編集専門委員会の実施（2回 8月、3月）  
かほく市史編集専門委員会専門部会の実施（13回）  
（各種調査）  
かほく市史編さんのための資料借用、画像借用など  
各専門部会を中心とした市内調査（調査回数 59回 調査委員延べ人数 94人）  
（広報・周知など活動）  
「市史編さんだより」の刊行（3回、第3～5号）  
高松小学校3年生のかほく市史編さん室社会科見学（59人、7月）  
市中央図書館での「1947年の航空写真から見た「かほく市」展」  
生涯学習フェスティバルでの行政展示

[市内史跡の保護]

- ・史跡整備されている上山田貝塚（国指定史跡）、大海西山遺跡（県指定史跡）については、パトロールと委託業務を通じて適切な史跡の保護を図った。

[文化財収蔵庫の老朽化対策のための調査]

- ・県や他市町の文化財収蔵庫を視察し、今後必要となる機能などを確認した。
- ・市の収蔵庫内の収蔵状況を確認し、今後の収蔵のための基礎情報を精査した。
- ・業務委託により、文化財収蔵庫を新規建設か、改修かなど、複数のプランの作成を実施し、その検討を開始した。

表 かほく市史刊行スケジュール

刊行年度	種別	分野
令和6年度（2024年）	図説編	かほくの歴史
令和7年度（2025年）	資料編1	古代・中世
令和8年度（2026年）	資料編6	寺社
令和9年度（2027年）	資料編7	民族
令和10年度（2028年）	資料編3	近代
令和11年度（2029年）	資料編5	考古
令和12年度（2030年）	資料編2	近世
令和13年度（2031年）	資料編4	現代
令和14年度（2032年）	資料編8	集落
令和15年度（2033年）	通史編	通史

【今後の方向性】

- ・国県の指定史跡については、定期的に県と連携したパトロールを実施し、そのパトロール結果を踏まえて適切な管理と保護措置を進めます。また指定文化財等の劣化や破損等を防止するために、専門機関からの助言等を受け、文化財の特性・所有状況に応じた保存・管理等の支援を継続します。
- ・市史編さんにおいて、新たに発見された貴重な史料を公開するなど情報発信していきます。  
保管されている歴史・考古・民俗資料の再整理を実施し、資料のデジタル化を含め、適正な管理を行います。

また、上山田貝塚や大海西山弥生の里（大海西山遺跡）など整備した遺跡について、今後も引き続き、市民に親しみの持てる場として施設を維持管理し、遺跡の保護に努めます。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市内指定文化財の数	48件	48件	48件	48件	48件	60件
かほく市史編集委員会等の組織の整備	—	—	実施	実施	実施	実施

## 基本的方向 5 - (1) 生涯にわたるスポーツ活動の振興

### ① スポーツへの参画人口の拡大

担 当 課	スポーツ文化課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <p>[スポーツ推進委員等による活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度…スポーツ推進委員数 18 人</li> <li>・昨年の評価において、今後の取組の方向性とした「かほく市民交流スポレクサーキット大会」を「市民交流大会」、「スポーツ体験会」に再編した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 市民交流大会（室内ペタンク競技） 参加者 240 人</li> <li>* スポーツ体験会（ニュースポーツ&amp;PFU ブルーキャッツ交流） 参加者 100 人</li> <li>* スポーツ体験会（かほくくんでゆるスポーツ体験） 震災の影響により中止</li> </ul> </li> <li>・河北台中学校の3年生を対象に体育の授業において、スポーツ推進委員や各種競技協会の協力のもと インディアカ・ペタンクを体験した。</li> </ul> <p>[イオンかほくSCと連携した事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「昔遊び体験会」の実施⇒令和6年1月8日予定 震災の影響により中止 （遊びをスポーツと捉えた新たな事業として、新年の昔遊びを地域の方々の協力を得て実施）</li> <li>* PFUブルーキャッツ県外開催ホームゲーム等の、パブリックビューイングの実施</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の活動である市民へのスポーツの指導及び助言や普及推進事業については、長時間拘束する大会等のニーズが乏しくなっていることから、幅広い年代が参加できるニュースポーツ大会をかほく市総合体育館で実施し、イオンかほくSC、かほくくんでのイベント開催、小中学校、公民館、学童保育クラブ等の活動への支援などアウトリーチ型のサービスを拡充します。</li> <li>・2020東京オリンピックの開催によりアーバンスポーツ（BMX、スケートボード、ブレイキンなど）や新たなスポーツへの関心が高まっています。総合型地域スポーツクラブや、体育施設の指定管理者、民間企業との連携により市内に競技団体が存在しないスポーツへも参画する機会をつくります。</li> <li>・一般社団法人スポーツコミッションかほくと連携し、スポーツを広く捉え、スポーツ（遊び）を身近に感じることで、スポーツの実施率の向上を図っていきます。</li> </ul>						
数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市民（成人）の週1回以上のスポーツ実施率 (国目標：週1回以上65%程度)	79.0%	78.0%	55.3%	56.2%	55.4%	70.0%
<small>※電子アンケート、生涯学習フェスティバル、市民体カテストにてアンケート調査実施 アンケート調査結果 242/437</small>						

## ② 運動習慣の定着とスポーツを通じた生きがいづくり

担 当 課	スポーツ文化課
-------	---------

### <取組内容・成果>

- ・高齢者が健康的かつ生きがいをもって自立した生活が送れるよう、健康増進や介護予防の必要性を学び、日頃からの体力・健康づくりにつなげるため、ケーブルテレビを活用した「ちょいトレ」や「百歳体操」など市民に対する日常運動の啓発活動を進めた。
- ・市民体力テストの民間委託について、高松総合型地域スポーツクラブ拠点施設（アクロス高松）の指定管理者であるコナミスポーツに委託し、民間のノウハウを活用し実施した。  
参加人数：59人（前回実施時 令和4年度：101人）
- ・市民のだれもが気軽に参加できるスポーツ大会として、市民交流大会（ペタンク競技）を実施した。

### 【今後の方向性】

- ・スポーツ関係団体との連携のもと、障害者スポーツの普及はもとより、レクリエーションスポーツやニュースポーツの体験会を開催し、より柔軟に、様々な立場の人と、一緒にスポーツを楽しめる機会をつくります。
- ・子供から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じたスポーツに取り組む機会の充実を図るため、ストレッチ体操やリズムダンスなどによる体力づくりに励む健康クラブの活動や、ウォーキングイベント、遊びの場などの活動を充実し、生活習慣の改善や運動習慣の定着を図ります。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
石川県立看護大学や地域スポーツクラブとの連携による健康づくりに関する実施事業数	1事業	0事業	0事業	1事業	2事業	3事業

### ③ 女性活躍の促進と障がい者がスポーツに親しめる環境の整備

担 当 課	スポーツ文化課
-------	---------

＜取組内容・成果＞

- ・市体育協会（スポーツ協会）、スポーツ少年団等の幹部役員には積極的に女性が登用されている。
- ・スポーツ推進委員は、委員 18 人中女性委員は 8 人で、委員に占める割合は 44.4%となっている。
- ・県内の市町に先駆けて「かほく市障害者スポーツ協会」を設立し、必要な支援を行った。
- ・市障害者スポーツ協会、県障害者スポーツ協会、市社会福祉協議会等が主催・共催するスポーツイベント等にスポーツ推進委員を派遣することで、障がい者のスポーツの場の確保への支援、また障害の有無にかかわらずスポーツに触れる機会を提供できた。

【今後の方向性】

- ・女性がスポーツに取り組みやすい環境を提供するため、親子での利用が多いかほくくるなどの子育て施設においても、スポーツに興じる機会を提供します。
- ・引き続き「かほく市障害者スポーツ協会」の活動を支援し、障害者スポーツの普及と障害者アスリートの育成を図ります。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
障がい者の週 1 回以上のスポーツ実施率 (国目標：週 1 回以上 40%程度)	42.3%	36.8%	40.6%	49.6%	54.0%	45.0%

※かほく市内障がい者福祉施設にアンケート調査実施  
アンケート調査結果 74/137



## ② 指導体制の充実

担 当 課	スポーツ文化課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者育成のため、各競技の公認審判員等の資格取得研修や登録費用の一部助成を継続して行い、公認審判員の資格取得を奨励した。</li> <li>・スポーツ少年団の資格移行に伴い、対象者に対して登録費用の一部を助成した。</li> </ul> <p>公認審判員取得奨励金支給人数 116人            内訳【令和5年度】 57人（内新規59人）            トランポリン30人、水泳1人、ソフトテニス1人、ソフトボール9人、バドミントン2人、            陸上競技15人、バスケットボール7人、インディアカ2人、弓道1人、サッカー2人、            太極拳4人、スタートコーチ4人、コーチングアシスタント29人            参考 【令和4年度】 71人</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員をはじめ、スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなどの人材は、持続可能なスポーツ環境の確保に必要不可欠です。引き続きスポーツ指導員等の資格取得を支援し、人材の育成に努めます。</li> <li>・部活動の地域移行にあたり、指導者の発掘や要請のほか、他市町での取組の情報提供や必要な資格の取得を支援します。</li> <li>・高度な専門知識や高い指導力を持つ指導者を養成・確保するため、石川県とも協働し、指導にあたるうえでの技術的講習はもちろん、あらゆるハラスメントを排除する意識の普及に努めます。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブとの連携によりジュニア世代へのメンタルトレーニングなど、競技団体を側面から支援する活動に取り組みます。</li> </ul>						
数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
スポーツ指導員の指導者数	5人	8人	14人	15人	57人	65人

### ③ 競技選手への支援の充実

担 当 課	スポーツ文化課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技スポーツの振興を図るため、全国大会へ出場する選手・監督等に対して激励費を支給した。</li> <li>・7月に全国高等学校総合体育大会の出場選手激励会、9月に国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の激励会を開催した。</li> <li>・平成27年度から市内に住所を有する中学生以下の全国大会への出場者に対し、交通費等の必要経費に対する助成を行っており、保護者の負担軽減を図っている。</li> </ul> <p>—全国大会出場実績—            大会合計：40大会            人 数：230人            [内訳：中学生以下(21大会98人)、高校生以上(21大会132人)]</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代アスリートの育成のため、「かほく市明日のアスリート育成事業」をスポーツコミッションと連携を図りながら実施し、ジュニア期からの競技力向上を支援します。</li> <li>・予選又は選考を経て全国規模の大会に出場する団体・個人へ激励費を支給します。また、出場選手の健闘を称える報告会等の開催や優秀成績者の表敬訪問を積極的に受け入れます。さらに活躍した選手の広報掲載やSNSによる発信も積極的に行います。</li> </ul>						
数値目標項目 「かほく市明日のアスリート育成事業」 助成件数	R元年度 (実績値) 2件	R2年度 (実績値) 0件	R3年度 (実績値) 0件	R4年度 (実績値) 2件	R5年度 (実績値) 0件	R5年度 (目標値) 5件

#### ④ 学校教育と連携した運動習慣の確立と体力の向上

担 当 課

学校教育課・スポーツ文化課

##### <取組内容・成果>

- ・令和6年3月1日（金）には、第2回かほく市立中学校部活動地域移行検討協議会を開催し、各種団体、学校及び保護者からの意見聴取を実施した。

##### <学校現場での取組>

- ・「部活動ガイドライン」に基づき、各学校において「学校の部活動に係る活動方針」を策定し、休養日や活動時間について指導するとともに、保護者や地域への周知を図った。
- ・部活動指導員及び外部指導者の活用により、顧問の技術指導の補助や生徒の技能の向上が図られ、各種大会において優秀な成績を収める結果となった。
- ・専門的知識・技術を有する外部指導者を活用し、顧問教諭と連携しながら部活動のコーチ等として技術指導を進めている。

##### (部活動指導員)

高松中学校	陸上・野球・吹奏楽	計3人
河北台中学校	バスケットボール・柔道・吹奏楽	計3人
宇ノ気中学校	男女バレーボール・女子バスケットボール・バドミントン・吹奏楽	計5人

##### (外部指導者)

高松中学校	ソフトテニス・卓球・剣道・バドミントン	計5人
河北台中学校	バレーボール・バドミントン・卓球・ソフトテニス	計5人
宇ノ気中学校	バドミントン	計1人

##### 【今後の方向性】

- ・部活動の地域移行については、国の動向を注視しながら、学校や関係団体と協議を行い、実施可能な競技から、順次移行を進めていきます。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
部活動指導員等と運動部顧問を対象とした研修会の開催回数	0回	0回	0回	0回	0回	年1回 以上

## 基本的方向 5 - (3) スポーツ団体の育成支援と連携

### ① (仮称) かほく市スポーツ協会設立にむけた調整の実施

担 当 課	スポーツ文化課
-------	---------

#### <取組内容・成果>

- ・令和6年4月のスポーツコミッション設立にむけた、諸手続きを進めた。  
3/3 (火) スポーツコミッション準備理事会  
3/26 (火) スポーツコミッション設立総会  
【定款、事務所の位置、就業規則等調整】
- ・施設や地域資源の有効活用を目的としたツーリズムプレイベントを企画し、アウトドア、ビーチ、サイクルを実施した。

#### アウトドアツーリズム

【参加者数：約 500 人】



#### サイクルツーリズム

【参加者数：約 40 人】



#### ビーチツーリズム

【参加者数：約 200 人】



#### 【今後の方向性】

- ・かほく市総合体育館を核に、スポーツ合宿や大会等を誘致し、スポーツを通じた交流人口、関係人口の拡大によりまちの魅力をPRしていきます。
- ・イベントや大会の開催による、市内での新たな需要に対応するため、飲食店や宿泊施設をはじめとする商工会や市内事業者、観光物産協会との連携を深めます。
- ・一般社団法人スポーツコミッションかほくの設立により、地域経済への波及効果を生み出すような施策を一緒に検討するとともに、公益の確保のために市が支援できることを明確にしておく必要があります。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
(仮称) かほく市スポーツ協会設立 準備検討委員会の立ち上げ	素案 作成	調査 研究	案作成	地域おこし 協力隊によ る活動	設立準備 設立 【R6. 4】	実施

## ② スポーツ少年団への支援

担 当 課	スポーツ文化課
-------	---------

### <取組内容・成果>

- ・青少年の体力向上及び心身の健全な育成を図るため、スポーツ少年団活動への支援として、活動補助金の交付と事務支援を行った。
  - \* 団員数 30 団体 584 人（うち幼児 13 人） ※市内小学生入団割合：545/1966 27.7%
  - 【令和4年度：30 団体 576 人（うち幼児 17 人）】 (令和6年3月末)
  - \* 指導者数 158 人【令和4年度：148 人】
  - \* 前年に引続き本部役員と連携し、子供及び指導者、保護者が安心安全な活動を行えるよう努めた。
- ・スポーツ少年団への加入率（小学生）は市内全児童の約 27%であり、年々減少傾向にある。
- ・青少年の健全育成を図るため、夜 9 時までを活動時間とする指導を強化し、規則正しい生活習慣の定着を図った。
- ・スポーツ少年団は技術の習得だけではなく、社会性、協調性、規律性を育む場として重要な役割を果たしている。
- ・昨年の評価において、かほく市ホームページに各団の紹介ページを作成し、インターネット検索ヒット率を上げることで、スポーツ少年団の活性化を図った。
- ・指導者、保護者を対象に“ケガの応急処置及び熱中症対策について”、“心肺蘇生法・AED 使用方法について”の講習会を開催し、子供の指導において安心安全な活動を行えるよう努めた。

### 【今後の方向性】

- ・市民の競技力の向上と競技人口の底辺拡大を図るため、スポーツ少年団やスポーツ協会が主催する各種競技大会を開催します。
- ・次世代アスリートの育成のため、「かほく市明日のアスリート育成事業」を実施し、ジュニア期からの競技力向上を支援します。
- ・次世代のアスリートを育成するため、市民とトップアスリートが直接的に触れ合う交流の場をつくり、競技力の向上と競技にむき合う意識の高揚に努めます。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
スポーツ少年団への加入率	31.0%	29.0%	29.0%	27.2%	27.7%	35.0%



#### ④ 地域スポーツクラブへの支援

担 当 課	スポーツ文化課
-------	---------

＜取組内容・成果＞

- ・総合型地域スポーツクラブ「クラブパレット」等との連携により、体育施設の指定管理、スタジオプログラムの運営などを進めた。

【クラブパレット概要】

- \*会員数 1918 人（令和6年3月末：イベント参加等含む）
- \*教室（こども向け）34 教室（一般向け）24 教室（文化教室）2 教室 その他スタジオ・サーキット事業を実施。
- \*クラブパレットに体育施設（9 施設）の指定管理を委託した。
- \*宇ノ気体育館のスタジオプログラムや河北台健民体育館のトレーニングジムの運営により市民の体力づくり、健康づくりを進めた。
- \*IT-CATS かほく推進協議会の一員として、プログラミング教室やロボット教室開催時に参加者の募集・受付と事務・会計を担っている。プログラミング教室は年間を通して 28 回、K-Lab は 63 回開催した。

【アクロス高松】

- \*会員数 1,834 人（令和6年3月末）

【今後の方向性】

- ・高度な専門知識や高い指導力を持つ指導者を養成・確保するため、石川県とも協働し、指導にあたるうえでの技術的講習はもちろん、あらゆるハラスメントを排除する意識の普及に努めます。
- ・総合型地域スポーツクラブとの連携によりジュニア世代へのメンタルトレーニングなど、競技団体を側面から支援する活動に取り組みます。
- ・総合型地域スポーツクラブの自立的な運営を支えるため、施設の計画的な長寿命化改修を進めるとともに、運営改善への助言・指導をし、クラブ運営の安定化への支援を行います。
- ・健康増進や介護予防への取組、障害者スポーツの推進、子育て支援、地域活性化等の公益的な事業をクラブ活動として実施することや、学校や各種団体への指導者派遣など、地域課題の解決にむけた取組を支援していきます。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
地域スポーツクラブへの加入者数 (ジョイ・アクロス登録会員含む)	4,746 人	3,572 人	5,211 人	4,797 人	3,752 人	5,000 人

## ⑤ 高齢者の運動に対する活動支援

担 当 課

スポーツ文化課

### <取組内容・成果>

- ・高齢者の運動の日常化を促進し、体力・健康増進を推進するため、市内の3つの健康クラブに対する支援として送迎バスの手配、指導者の派遣などを行った。
- ・クラブ活動を通じて、体力・健康づくりと会員の相互交流が図られた。

### 【健康クラブ概要】

- ・会員数 高松健康クラブ 27人 七塚健康クラブ 25人 宇ノ気友垣健康クラブ 36人
- ・活動内容 週1回活動（軽運動・ダンス・健康相談（長寿介護課による））
- ・市からの支援内容
  - \* 週1回の活動時の送迎バス手配
  - \* 活動への講師の派遣（高松健康クラブ・七塚健康クラブ）
  - \* 県交歓大会やフォークダンスフェスティバル参加に係る手配

### 【今後の方向性】

- ・スポーツ関係団体との連携のもと、障害者スポーツの普及はもとより、レクリエーションスポーツやニュースポーツの体験会を開催し、より柔軟に、様々な立場の人と、一緒にスポーツを楽しめる機会をつくれます。
- ・子供から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じたスポーツに取り組む機会の充実を図るため、ストレッチ体操やリズムダンスなどによる体力づくりに励む健康クラブの活動や、ウォーキングイベント、遊びの場などの活動を充実し、生活習慣の改善や運動習慣の定着を図ります。
- ・「百歳体操」の活動や近年の多種多様な運動・スポーツの選択肢の増加に伴い、年々健康クラブの加入者は減少しており、サービス提供の方法について検討する必要がある。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
健康クラブへの加入者数	165人	140人	128人	110人	87人	100人

## 基本的方向5－(4) スポーツ活動を支える環境の整備・充実

① スポーツ施設の整備と機能の充実						
担 当 課		スポーツ文化課				
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなスポーツ文化の拠点となる「かほく市総合体育館」が令和6年3月に完成した。 【供用は、令和6年4月】 併せて、旧七塚庁舎跡地をかほく市総合体育館第2駐車場として整備した。</li> <li>・日本スポーツ振興センターの助成をうけ、かほく市総合体育館にバスケットゴールを2組購入した。</li> <li>・令和6年能登半島地震により被害を受けた施設のうち、宇ノ気南部体育館、金津ソフトボール場、七塚中央公園多目的グラウンド、七塚体育センターの復旧工事を実施し、早期の施設供用を図った。</li> <li>・令和5年度においては、宇ノ気体育館アリーナ等照明、うのけ総合公園陸上競技場のナイター照明のLED化改修工事を実施した。 また、その他社会体育施設において経年劣化による修繕工事を進めた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年能登半島地震による社会体育施設への被害は非常に大きく早期の復旧を図ります。</li> <li>・スポーツ施設の利用日時や実施可能な競技種目など、多様なスポーツ活動のニーズに対応し、予約システムの導入やICTの活用により施設を最大限活用します。</li> <li>・これまで、スポーツ施設整備計画に基づき、機能が重複する施設の転用、集約化、大規模改修等を進めてきました。今後も、引続き計画に基づき、省エネ化、ユニバーサルデザイン化を進めていきます。</li> <li>・施設同様、付帯する設備や備品、用具の老朽化対策についても、計画的に更新していきます。</li> <li>・かほく市総合体育館等整備・運営事業については、速やかに第2期工事の整備方針を確定し、十分な説明を行い、早期の完成にむけ、事業者と取り組んでいきます。 また、運営についても、適宜改善を行いよりよいサービスの提供を行う。スポーツコミッションとも連携しスポーツによる地域振興に取り組んで行く。</li> <li>・宇ノ気体育館の空調整備工事を実施し、より快適なスポーツの場の提供を行います。</li> </ul>						
数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市内全スポーツ施設の年間総利用者数	56.4 万人	39.5 万人	43.8 万人	45.1 万人	47.2 万人	58.0 万人

## ② スポーツ施設の効率的な管理・運営

担 当 課	スポーツ文化課					
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七窪体育館を除く全ての施設で令和6年度からの体育施設の指定管理者を募集した。</li> <li>・アクロス高松については、早期に公募を実施し、民間事業者からの提案をうけ、指定管理料は、これまでの独立採算から指定管理料を支払うことで、運営期間は、これまでの10年から5年とすることで事業者と合意した。</li> <li>・かほく市総合体育館等整備・運営事業については、かほく市総合体育館と七塚テニスコートの指定管理者としてかほくPFIアリーナ㈱を指定した。</li> <li>・かほく市総合体育館については、公共施設による新たな収入の確保として、ネーミングライツパートナーを募集し、㈱PFLUライフエージェンシーがネーミングライツパートナーと決定した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き指定管理者制度により民間ノウハウを活用し、自由度の高い管理運営を行います。</li> <li>・体育施設の管理運営については、これまで以上に民間活力を活用したサービスの向上と効率的な施設の管理・運営が必要となってきます。スポーツコミッションと協力し施設の有効利用を図っていく必要があります。</li> <li>・市内中学校屋内運動場及び宇ノ気体育館に空調設備が導入されることに伴い、適正な施設利用料金を規定し、適正な受益者負担を求めます。</li> <li>・体育施設の指定管理についてより利用料金収入を向上させていく場合に、(一財)かほく市公共施設管理公社が管理するうえでの問題等を整理して行く必要があります。</li> </ul>						
数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
市直営のスポーツ施設数	1施設	1施設	1施設	0施設	0施設	0施設

### ③ スポーツによる地域活性化の促進

担 当 課	スポーツ文化課
-------	---------

＜取組内容・成果＞

- ・青少年教育や地域活性化への貢献事業として、P F Uブルーキャッツの選手と市内小中学生がグッドマナーキャンペーン期間中に一緒にあいさつ運動を行い交流が図られた。
- ・ツエーゲン金沢が開催する「かほく市ホームタウンサンクスデー」は、かほく市在住者の無料観覧サービス（600人）が実施され、市民に「みるスポーツ」の機会を提供する取組が行われた。  
ホームタウンサンクスデー 5月13日（土） 観客数：2,317人

【今後の方向性】

- ・スポーツコミッションと連携し、かほく市総合体育館を核に、スポーツ合宿や大会等を誘致し、スポーツを通じた交流人口、関係人口の拡大によりまちの魅力をPRしていきます。
- ・スポーツコミッションでは、スポーツツーリズム事業を企画し、キャンプをテーマにしたアウトドアスポーツツーリズム、地引網などを体験するビーチスポーツツーリズム、電動自転車にて市内を周遊するサイクルスポーツツーリズム、天然芝のグラウンド・ゴルフ場を活用した天然芝スポーツツーリズムなど、市内の公共施設や地域資源を利用し、体験しながら市内に滞在する新たなイベントを開催していきます。
- ・イベントや大会の開催による、市内での新たな需要に対応するため、飲食店や宿泊施設をはじめとする商工会や市内事業者、観光物産協会との連携を深めます。
- ・トップスポーツチームによる市内のこども園、学校や企業に対する広報活動を支援し、1人でも多くの人に、スポーツの素晴らしさを伝え、スポーツを支える市民のすそ野の拡大を図ります。
- ・次世代のアスリートを育成するため、市民とトップアスリートが直接的に触れ合う交流の場をつくり、競技力の向上と競技にむき合う意識の高揚に努めます。
- ・石川ユナイテッドに加盟する、P F Uブルーキャッツ、石川ミリオンスタース、ツエーゲン金沢、金沢武士団、北國銀行ハニービー、金沢学院クラブ、ヴィンセドール白山、金沢ポートの8団体の活動を広報し、より身近になったトップスポーツチームへの応援機運を醸成します。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
トップスポーツチームによる学校訪問等の事業数	1事業	1事業	1事業	1事業	1事業	2事業

# 基本的方向6 – (1) 多文化共生社会および国際化に対応した教育の充実

## ① 国際交流事業の推進

担当課

生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・市広報紙に国際交流員によるコラム連載をした。(6、10、2月以外 年9回)
- ・市広報紙に姉妹都市交流に関する記事「写真で見る姉妹都市」を掲載した。(5、8、10、3月号)
- ・市国際交流協会へ補助金を交付することによって活動を支援し、ハロウィン・イースター行事等が行われた。また、市国際交流協会と連携し姉妹都市交流事業を実施した。
- ・姉妹都市交流事業の実施  
7月17日から24日まで、姉妹都市青少年交流としてメスキルヒ市生徒15人と引率者2人をおかほく市に受入した。市内中学校での授業体験、市内外の施設見学、13家庭とのホームステイ等を通し、両市の交流と多文化理解を図った。
- ・8月17日から19日にかけて開催した第36回 JAPAN TENT おかほく市プログラムで、留学生6人を受入した。市内施設・企業見学、5家庭とのホームステイを通し、国際理解・多文化理解を図った。
- ・4市2町(金沢市・白山市・かほく市・野々市市・津幡町・内灘町)の国際交流担当課で構成する石川中央都市圏「国際交流連絡会」において、連絡会を3回開催し、情報交換や課題の共有等を行い、下記事業を実施した。  
「国際交流連絡会」の活動として、金沢国際交流財団主催の「かなざわ国際交流まつり」に出展し、パネル展示や圏域内の国際交流事業の紹介などを行った。(10月)



ラーラからのポストカード (広報 11月号)



姉妹都市交流事業の様子

### 【今後の方向性】

- ・国際交流・国際理解を推進するため、国際交流サロンを開設し、国際交流員による事業の拠点として活用します。また、国際交流サロンのSNSアカウントを作成し、幅広い世代に対しPR活動を行います。
- ・令和5年度から再開した直接の姉妹都市交流事業を継続して実施し、相互の親睦を深めます。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
姉妹都市メスキルヒ市との相互交流人数 (累計)	875人	875人	915人	970人	987人	950人

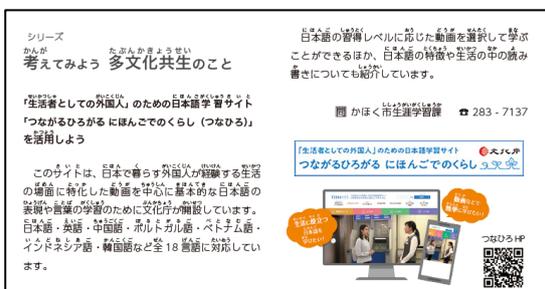
## ② 多様な文化に対する理解の推進

担当課

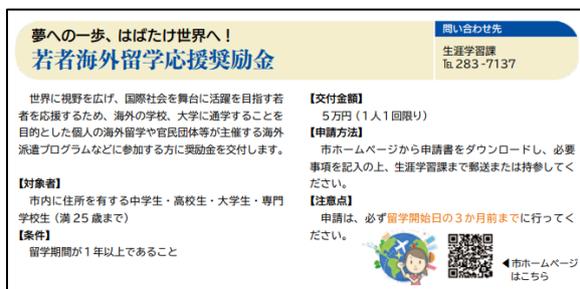
生涯学習課

### <取組内容・成果>

- ・市広報紙に多文化共生に関する記事「考えてみよう 多文化共生のこと」を掲載した。(7、9、12、2月号)
- ・国際交流員(CIR)による「Kahoku シュタムティッシュ」を開催し、ドイツのボードゲームなどを通じて外国人と交流する機会を設けた。(5、10、12、2月) 参加延べ人数 54人
- ・グローバルな活躍をめざす若者を応援するための「かほく市海外留学応援奨励金」について、広報紙への掲載で周知を図った。(4月号)
- ・学校教育課と連携し、支援が必要な外国人児童に対し子ども日本語支援サポーターの派遣を行い、取り出し授業による支援(週2回)を実施した。(6月～)
- ・市国際交流協会による市民サロン「K-CAFE」が開催された。(第2・4火曜日 10時～13時)



多文化共生に関する掲載記事(広報2月号)



かほく市海外留学応援奨励金

### 【今後の方向性】

- ・国際理解と多文化共生を推進するため、国際交流サロンを開設し、国際交流に興味関心のある市民や外国籍の住民との交流の場を増やし、更なる国際交流を促進します。
- ・新規子ども日本語支援サポーターの募集と既存サポーターのスキルアップを目的に、学校教育課と連携し養成講座を実施します。また、支援が必要な外国人児童への指導の際、適宜日本語講師を派遣し、適切な支援を実施します。
- ・市広報やチラシ、ホームページ、いいメールかほく、公式LINE等のSNS、ケーブルテレビなどを活用し、対象となる世代に対して、「かほく市若者海外留学応援奨励金」について広く情報を発信・周知するとともに、活用促進に努めます。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
かほく市海外留学応援奨励金の交付件数	0件	0件	1件	0件	0件	3件

### ③ 実践的な外国語教育の充実

担当 課

生涯学習課

＜取組内容・成果＞

- ・市民の国際交流・国際理解への関心を高めるため、子育て支援センターやこども園に国際交流員（CIR）を派遣した。
- ・市内小中学校からの依頼を受け、外国語学習の際に講師として随時国際交流員（CIR）を派遣した。



金津小「ワールドコミュニケーション」の様子

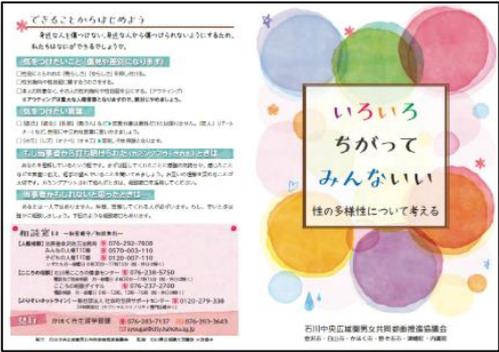
【今後の方向性】

- ・子育て支援センター、こども園、小中学校と連携し、国際理解教室などの各種行事に国際交流員を派遣することにより、幅広い世代の市民との交流機会を設け、国際理解や多文化理解を推進します。
- ・国際交流サロンで国際交流員による英語やドイツ語を学べる機会を設け、外国語学習の機会を創出します。

数値目標項目	R元年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R5年度 (目標値)
国際理解教室等開催数 (CIR 派遣含む)	57 回	2 回	14 回	34 回	47 回	80 回

## 基本的方向 6 - (2) 人権教育の推進

① 学校教育における人権教育の推進	
担当課	学校教育課
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科、道徳など教育活動全体を通じた人権教育の推進に取り組んだ。特に人権週間の期間においては、各校で人権週間の意義を伝える放送を行うなど、人権意識の高揚を図った。</li> <li>西田幾多郎記念哲学館で上映された人権映画上映会の冒頭に石川県人権作文コンクール優秀賞を受賞した作文を受賞生徒が朗読を行うことで、人権意識の共有を図った。</li> <li>金沢地方法務局及び市民生活課と連携を図り、「人権の花」運動、人権教室などを実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の発達段階に応じ、各教科、特別の教科道徳、特別活動及び総合的な学習の時間など教育活動全体を通じた人権教育を推進します。</li> <li>人権週間における各校の取組が一層充実したものとなるよう努めます。</li> </ul>	

② 社会教育における人権教育の推進	
担当課	生涯学習課
<p>&lt;取組内容・成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石川中央広域圏男女共同参画推進協議会作成の性の多様性について考えるリーフレットを市役所などの公共施設に設置、ホームページへの掲載のほか、石川県作成の人権啓発冊子を設置し、人権意識の啓発を行った。</li> <li>市民生活課と共催で人権映画上映会「彼らが本気で編むときは、」を開催し、174人の参加があった。</li> <li>石川中央広域圏男女共同参画推進協議会（金沢市、かほく市、白山市、野々市市、津幡町、内灘町）の担当事務局として「私らしさのみつつけ方」という演題で男女共同参画講演会を開催し、473人の参加があった。</li> </ul>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>性多様性について考えるリーフレット</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>人権啓発冊子</p> </div> </div>	
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石川中央広域圏男女共同参画推進協議会や市民生活課と連携し更なる啓発活動を図ります。</li> <li>幅広い層の方に興味関心のある映画を上映会することで、世代や性別関係なく多くの方に対して人権について考えるきっかけ作りを行います。</li> <li>市広報紙への掲載、チラシの配布、ホームページへの掲載等、あらゆる広報媒体を利用し周知活動を積極的に行います。</li> </ul>	

### Ⅲ 資料

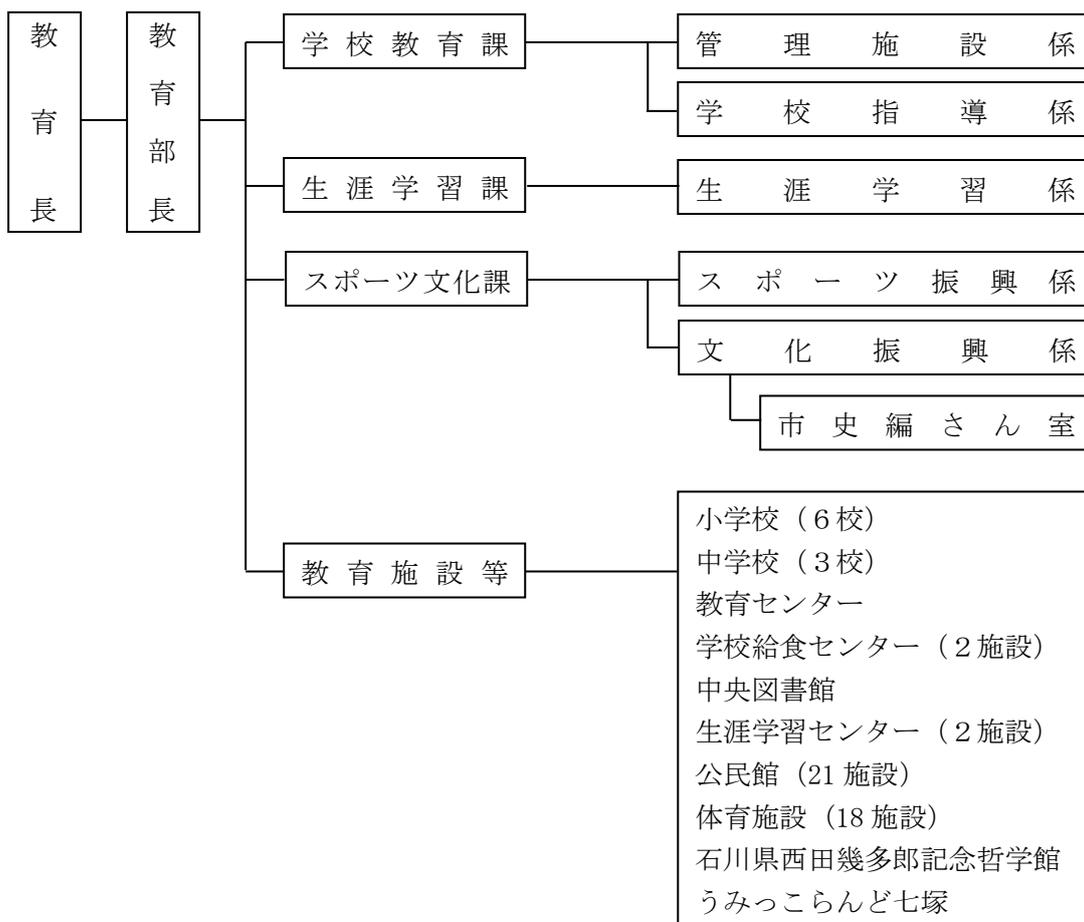
#### 1 教育長・教育委員会委員名簿

(令和6年5月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	山越 充	令和4年4月28日～令和7年4月27日
教育長職務代理者	紘野 武利	令和6年4月28日～令和10年4月27日
教育委員	長柄 悦子	令和5年4月28日～令和9年4月27日
教育委員	諸井 幸子	令和3年4月28日～令和7年4月27日
教育委員	竹中 健司	令和4年4月28日～令和8年4月27日

#### 2 教育委員会の組織

(令和6年4月1日現在)



### 3 教育施設等

#### (1) 小学校

(令和6年5月1日現在)

名 称	開設年月日	児童数
かほく市立高松小学校	明治6年	392人
かほく市立大海小学校	明治8年1月	66人
かほく市立七塚小学校	明治6年7月4日	288人
かほく市立外日角小学校	明治8年11月17日	490人
かほく市立宇ノ気小学校	明治8年4月10日	692人
かほく市立金津小学校	明治6年11月	65人

#### (2) 中学校

(令和6年5月1日現在)

名 称	開設年月日	生徒数
かほく市立高松中学校	昭和22年4月1日	251人
かほく市立河北台中学校	昭和32年4月1日	299人
かほく市立宇ノ気中学校	昭和22年4月1日	355人

#### (3) 教育センター

(令和6年4月1日現在)

かほく市教育センター
------------

#### (4) 学校給食施設

(令和6年4月1日現在)

かほく市第1学校給食センター	かほく市第2学校給食センター
----------------	----------------

#### (5) 社会教育施設

(令和6年4月1日現在)

かほく市立中央図書館	かほく市七塚生涯学習センター
かほく市宇ノ気生涯学習センター	石川県西田幾多郎記念哲学館
かほく市うみっこらんど七塚	かほく市高松公民館
かほく市二ツ屋公民館	かほく市長柄町公民館
かほく市木津公民館	かほく市松浜公民館
かほく市遠塚公民館	かほく市浜北公民館
かほく市秋浜公民館	かほく市外日角公民館
かほく市白尾公民館	かほく市森公民館
かほく市指江公民館	かほく市至誠が丘公民館
かほく市気屋公民館	かほく市宇気公民館
かほく市七窪公民館	かほく市宇野気公民館
かほく市内日角公民館	かほく市大崎公民館
かほく市金津公民館	かほく市上田名公民館

(6)社会体育施設

(令和6年4月1日現在)

かほく市高松体育センター	かほく市七塚体育センター
かほく市宇ノ気体育センター	かほく市宇ノ気新化館
かほく市宇ノ気南部体育館	かほく市宇ノ気スポーツセンター
かほく市七窪体育館	かほく市うのけ総合公園陸上競技場
かほく市宇ノ気体育館	かほく市七塚中央公園多目的運動広場
かほく市サッカー・ラグビー競技場	かほく市少年野球場
かほく市高松野球場	かほく市七塚テニスコート
かほく市金津ソフトボール場	かほく市高松グラウンド・ゴルフ場
かほく市アクロス高松	かほく市総合体育館

4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和5年度  
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

発行年月：令和6年8月

発行者：かほく市教育委員会

学校教育課	TEL 076-283-7136 / FAX 076-283-3643 E-mail : gakkou@city.kahoku.lg.jp
生涯学習課	TEL 076-283-7137 / FAX 076-283-3643 E-mail : syougai@city.kahoku.lg.jp
スポーツ文化課	TEL 076-283-7135 / FAX 076-283-3643 E-mail : spobun@city.kahoku.lg.jp

〒929-1195 石川県かほく市宇野気ニ 81 番地 (かほく市役所内)

URL : <http://www.city.kahoku.lg.jp/>